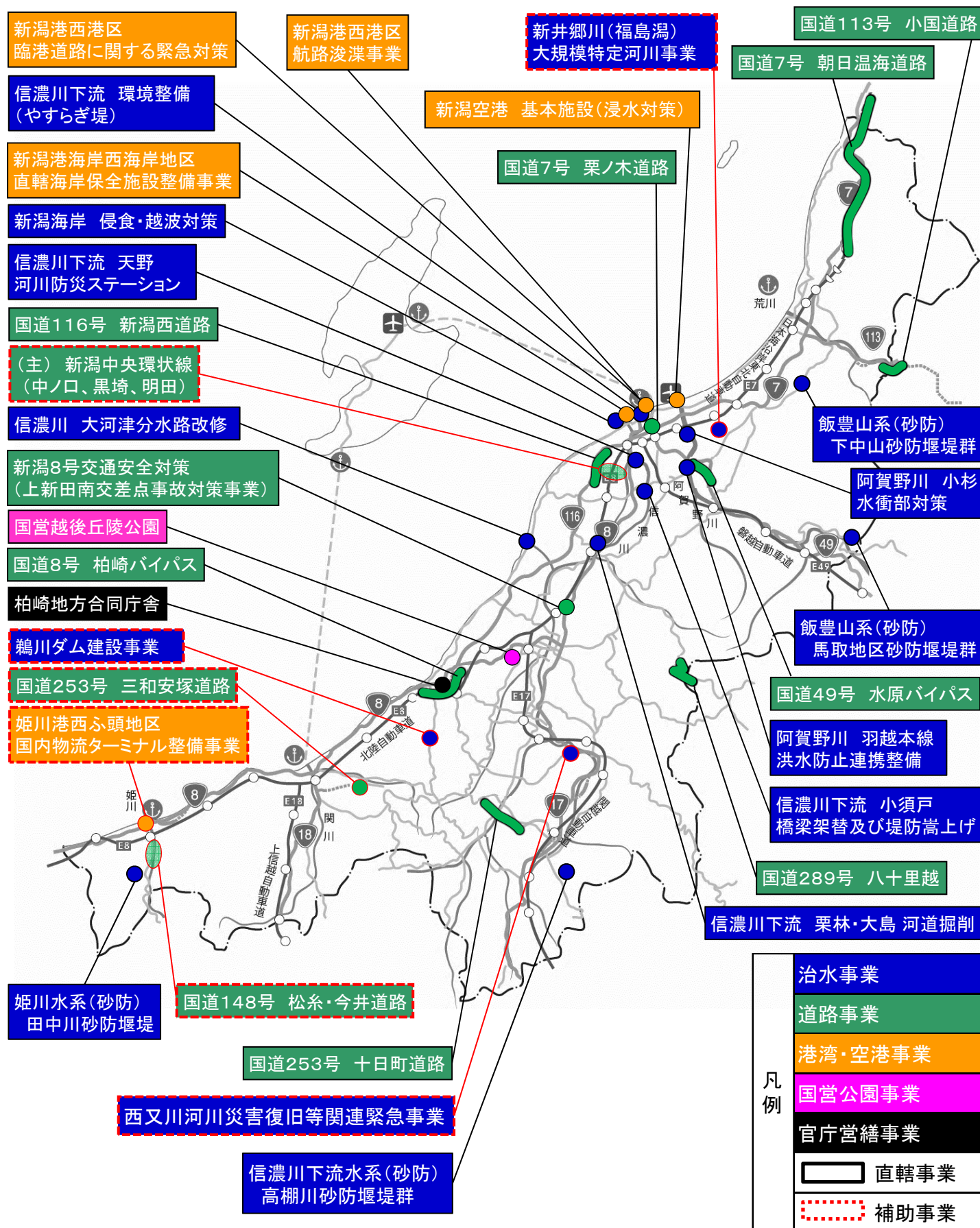


北陸地方整備局

平成31年度予算 主要事業

[参考資料]

新潟県内の主要事業



国道113号 小国道路事業の新規事業化

新潟県岩船郡関川村・山形県西置賜郡小国町

(※) H31事業費
60百万円

(※) H31年度事業費は北陸地方整備局分

事業の概要

小国道路は、地域高規格道路新潟山形南部連絡道路の一部を構成し、積雪期の交通機能の改善および広域観光連携を支援する幹線道路ネットワークの強化を目的とした、新潟県岩船郡関川村大字金丸から山形県西置賜郡小国町大字松岡に至る延長約12.7kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・積雪期の交通機能の改善
- ・広域観光連携を支援する幹線ネットワークの強化

平成31年度の事業内容

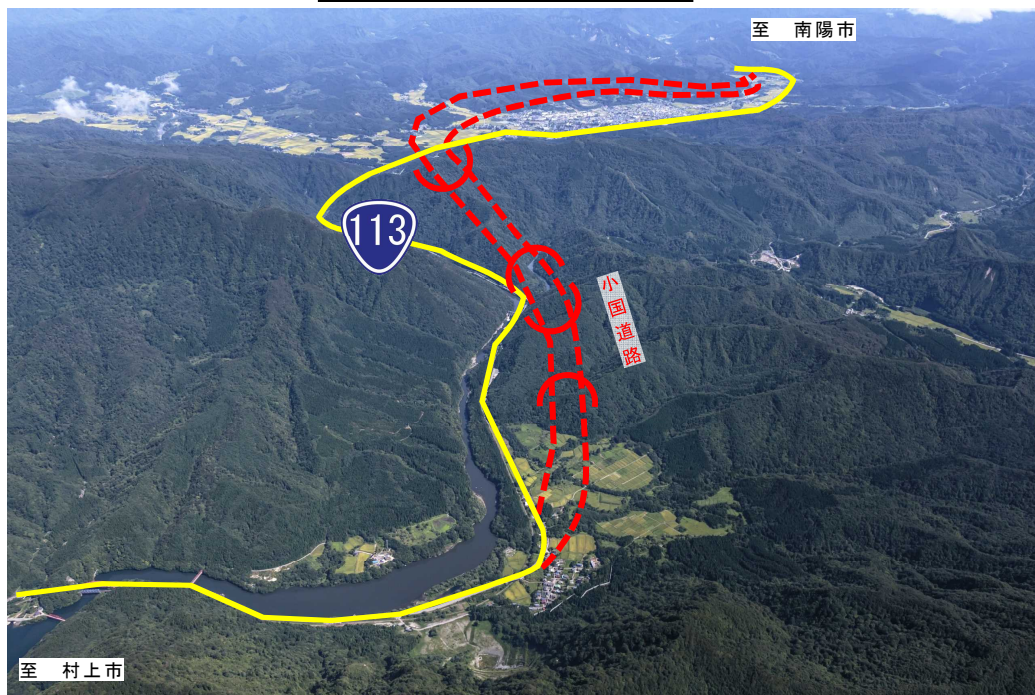
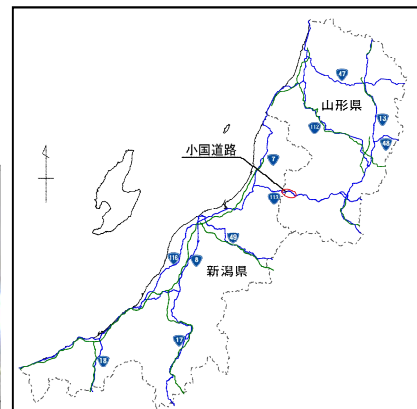
平成31年度より、測量、地質調査、道路設計に着手します。



▲ 通行規制を伴う運搬排雪の状況



▲ 雪崩による通行止めの状況



国道 116 号 新潟西道路事業の新規事業化

新潟県新潟市

H31 事業費 50 百万円

事業の概要

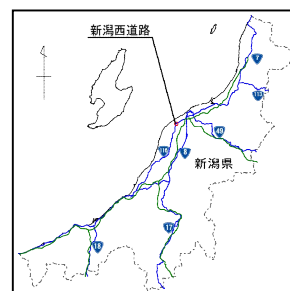
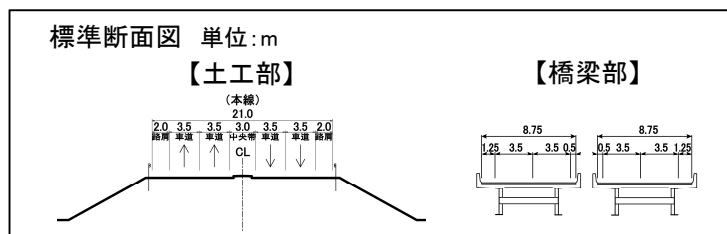
新潟西道路は、地域高規格道路新潟東西道路の一部を構成し、新潟都市圏東西軸の渋滞解消と、国道 116 号および沿線地域の安全性向上などを目的とした、新潟市西区明田から同区曾和に至る延長約 4.2 km の道路整備事業です。

整備効果

- 新潟都市圏東西軸の渋滞が解消し、信頼性の高いネットワークを構築
- 渋滞解消により、国道 116 号の安全性が向上するとともに、抜け道利用の削減が期待され、沿線地域の安全性向上に貢献
- 物流効率化による地域産業の支援

平成 31 年度の事業内容

平成 31 年度より、測量、地質調査、道路設計に着手します。



国道253号 ^{とおかまち}十日町道路事業の新規事業化

^{にいがた}新潟県 ^{とおかまち}十日町市

H31事業費 50百万円

事業の概要

^{とおかまち}十日町道路は、地域高規格道路^{じょうえつうおぬま}上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成し、現道区間の急カーブ、急勾配^{はつか}区間の解消、土砂災害・冬期交通障害リスクの回避などを目的とした、^{とおかまち}十日町市北^{きたあぶさか}鑑坂から同市八箇に至る延長約10.8kmの直轄権限代行による道路整備事業です。

整備効果

- ・現道区間の交通障害リスクを回避し、信頼性の高いネットワークの形成
- ・三次医療施設への到達時間短縮^{うおぬま}と走行環境改善により、魚沼地域の医療サービスの向上を支援
- ・関越自動車道と十日町地区へのアクセス性が向上し、観光振興を支援

平成31年度の事業内容

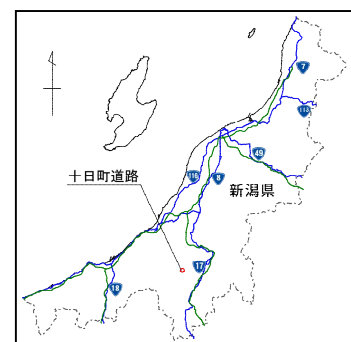
平成31年度より、測量に着手します。



▲ 法面雪処理に伴う片側交互通行状況



▲ H23.7新潟・福島豪雨被災状況



にいがた
新潟 8 号交通安全対策
（上新田南交差点事故対策事業）の新規事業化
にいがた みつけ
新潟県見附市

H31事業費 9百万円

事業の概要

当該箇所は、^{ながおか}長岡市から^{さんじょう}三条市に向かう車線が下り勾配であるため、速度超過を誘発しやすい区間となっています。そのため、直進左折車線では左折車の減速に後続車の減速が間に合わず、急減速や追突事故が発生しています。また、近隣の工業団地の分譲完了に伴い、工業団地へ向かう右折車両が増加し、右折車線から走行車線へ滞留がはみ出す状況が確認されており、早急な対策が必要です。

本事業は、交差点改良（左折車線の設置、右折車線滞留長の延伸）により、事故防止を図るものです。

整備効果

- ・ 左折車線の設置及び右折車線滞留長の延伸による事故の防止

平成 31 年度の事業内容

平成 31 年度より、調査設計に着手します。



かしわさき
柏崎地方合同庁舎 空調設備改修
にいがた かしわさき
新潟県柏崎市

H31事業費 265百万円

事業の概要

既存官庁施設において、最低限必要な施設の性能を確保するため、経年劣化が著しい設備について、緊急的な改修を実施します。

整備効果

行政サービスの円滑な提供に最低限必要な水準を確保します。

平成31年度の事業内容

かしわさき
平成31年度は、柏崎地方合同庁舎の空調設備改修を実施します。

「柏崎地方合同庁舎の概要」

入居官署：新潟地方法務局柏崎支局

柏崎公共職業安定所

新潟地方検察庁柏崎区検察庁

所在地：新潟県柏崎市田中26番23号

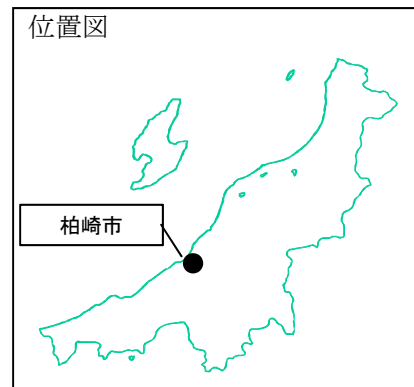
築年：1989年

構造：鉄筋コンクリート造

階数：地上4階建て

延床面積：3,420㎡

位置図



【位置図】



【庁舎外観写真】

にいごうがわ（福島潟）大規模特定河川事業の着手

にいがた にいがた し ば た
新潟県新潟市・新発田市

H31事業費
2,142百万円

事業の概要

あがの がわ ふくしまがた
阿賀野川水系福島潟周辺では、平成10年8月洪水により甚大な被害を受け、上流部・下流部は災害復旧助成事業等により整備が進みましたが、中流部に位置するふくしまがたの福島潟の整備は途上段階にあり、上流の流量増やふくしまがたの水位上昇に対する対策が未だ十分ではないことから、大規模特定河川事業により河道掘削や築堤等を集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

整備効果

平成10年8月洪水と同規模洪水に対して浸水被害の軽減を図ります。

平成31年度の事業内容

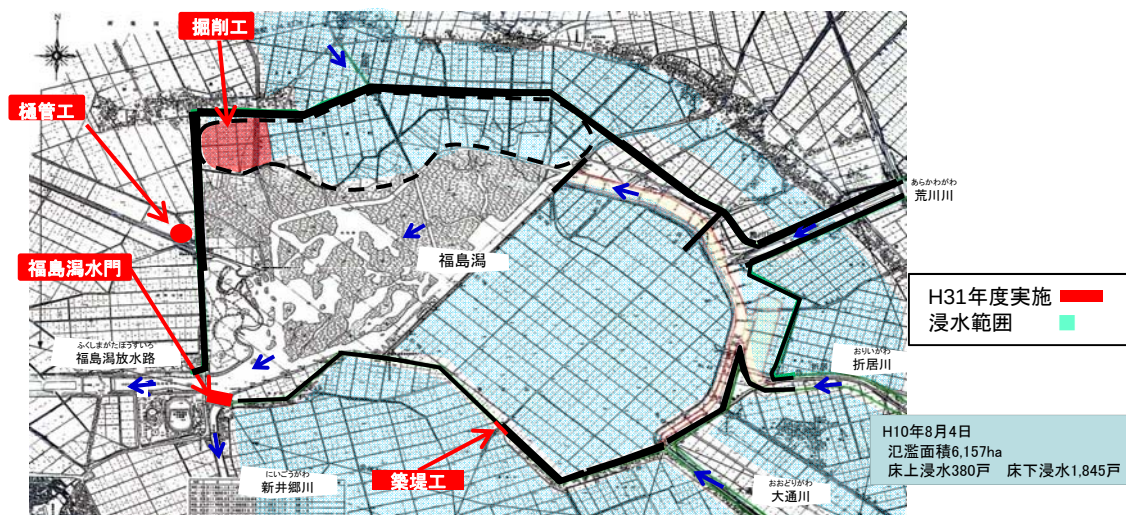
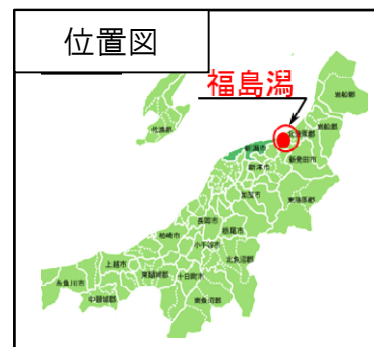
にいがた し ば た ふくしまがた
新潟市および新発田市に位置する福島潟において河道掘削や築堤等を実施します。



新潟市北区(旧豊栄市白新町)の浸水状況(H10.8)



新発田市(旧豊浦町天王)の浸水状況(H10.8)



[地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路]

国道 148 号 松系・今井道路事業の新規事業化

新潟県糸魚川市

H31事業費 40百万円

事業の概要

松系・今井道路は、糸魚川市山本から同市上刈間の延長約 5.0 km において、「松本糸魚川連絡道路」の一部を構成するとともに、現道における線形不良区間や姫川の浸水想定区域を回避し、物流の効率化及び地域間交流の支援を図る事業です。

整備効果

- ・ 糸魚川市中心部や姫川港と関東圏を結ぶ主要物流ルートへのアクセス向上及び安全性向上
- ・ 姫川の浸水想定区域の回避により災害に強い物流ネットワークを確保
- ・ 緊急救命施設（県立中央病院）へのアクセス向上

平成 31 年度の事業内容

平成 31 年度より、測量、調査設計に着手します。



しなのがわ かりゅう
信濃川下流

くりばやし おおじま
栗林・大島

河道掘削 の完了

にいがた さんじょう
新潟県三条市

H31事業費
5,265百万円※1

※1: 信濃川下流河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となったことから、洪水時の水位を低減し、洪水の安全な流下を図るため、河道掘削を実施しています。

この河道掘削による水位低減は、信濃川本川に加え、平成23年7月の出水で堤防高近くまで水位が上昇した支川（五十嵐川・中ノ口川）の水位低減にもつながるものです。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、河道掘削を完了します。

整備効果

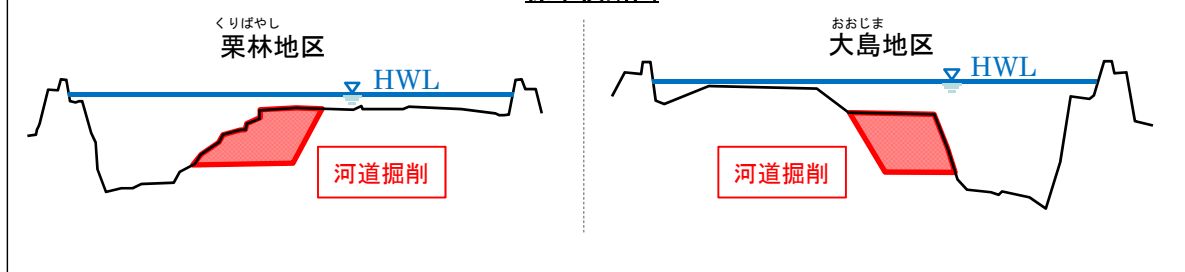
河道掘削の完了により、信濃川下流域の本川、支川の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

栗林・大島地区の河道掘削を完了します。



標準横断面図



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

飯豊山系直轄砂防事業（馬取地区砂防堰堤群）の推進

新潟県東蒲原郡阿賀町

H31事業費
139百万円

事業の概要

飯豊山系（阿賀野川）は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

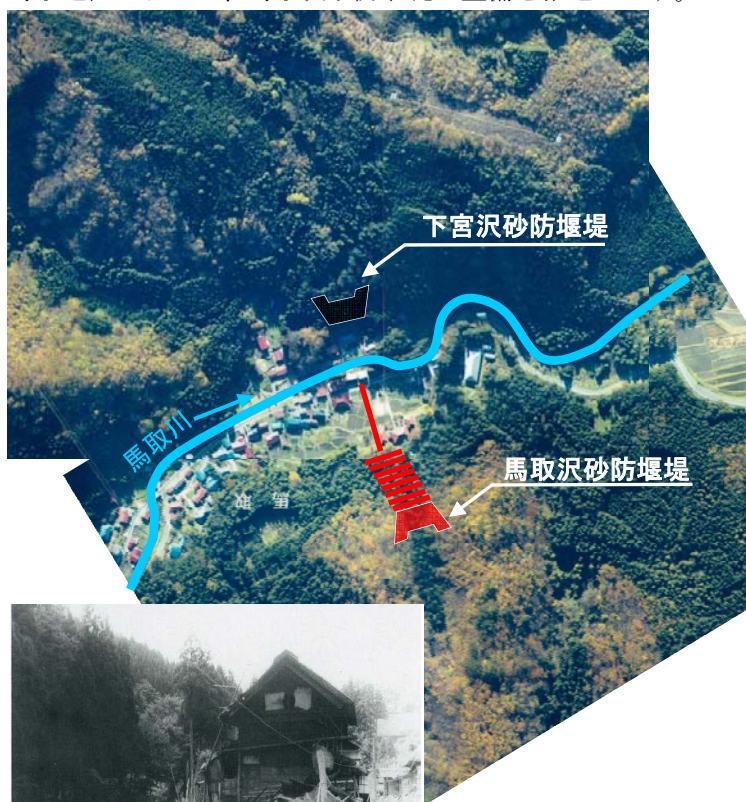
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

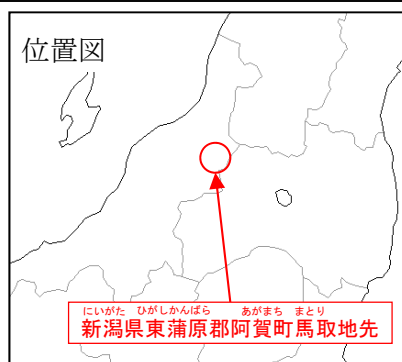
砂防堰堤等の整備により、避難路等に対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

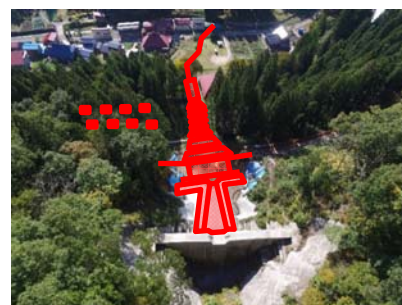
馬取地区において、馬取沢砂防堰堤の整備を推進します。



昭和42年8月羽越災害
馬取川の氾濫で倒壊寸前となった家



【保全対象】馬取集落
人家3戸、公共施設 2箇所



馬取沢砂防堰堤

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

阿賀野川 羽越本線洪水防止連携整備 の推進

にいがた あがの
新潟県阿賀野市

H31事業費
1,427百万円※1

※1: 阿賀野川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

阿賀野川では、平成23年7月新潟・福島豪雨において、観測史上最大の流量を記録しました。阿賀野市下里地区のJR羽越本線阿賀野川橋梁では水防活動を実施しており、洪水を安全に流下させるための断面が不足していることから、洪水時の水位を低減、洪水の安全な流下を図るための河道掘削及び堤防整備が必要となっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進し、平成32年度完了を目指します。あわせて、橋梁管理者と連携し、堤防整備に必要な右岸側のJR羽越本線橋梁部の対策工(部分架替工)に着手します。

整備効果

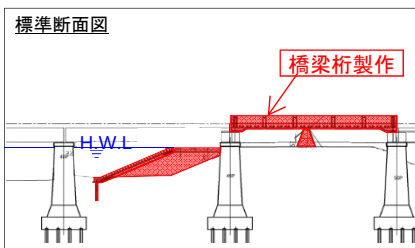
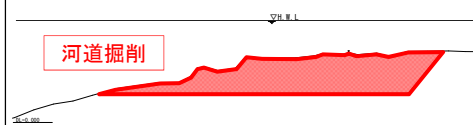
河道掘削の推進及び橋梁の部分架替工の着手により、阿賀野川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

下里地区の河道掘削の推進及び橋梁の部分架替工(橋梁桁製作)に着手します。



標準断面図



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

阿賀野川 小杉 水衝部対策 の推進

新潟県新潟市

H31事業費
1,427百万円※1

※1:阿賀野川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

阿賀野川左岸の新潟市江南区小杉地区では、平成27年9月関東・東北豪雨等により、堤防付近の侵食、洗掘が進行しており、堤防が決壊した場合、人口・資産が集中する政令指定都市である新潟市が氾濫域に含まれるため、甚大な被害が予想されます。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※2)の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、引き続き水衝部対策工(侵食対策)を推進します。

整備効果

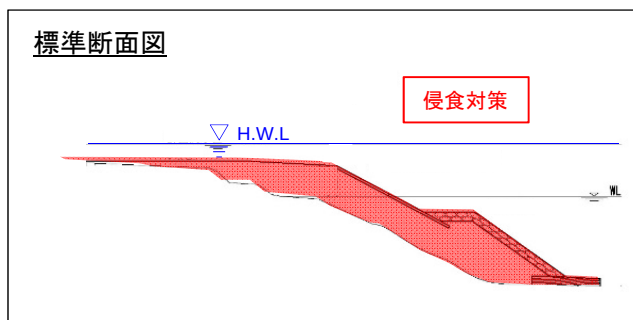
水衝部対策(侵食対策)の推進により、阿賀野川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

小杉地区の水衝部対策(侵食対策)を推進します。



標準断面図



※2:「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

^{しなのがわ}信濃川下流 ^{あまの}天野 ^{にいがた にいがた}河川防災ステーション ^{ほみょうしんでん いからしがわ}の整備推進 ^{にいがた}新潟県新潟市 ^{H31事業費}5,265百万円※

※信濃川下流河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となりました。また、本川の水位上昇により内水排水が困難となり、沿川では内水被害が多く発生しました。

信濃川下流の氾濫域は低平地（ゼロメートル地帯）であるとともに、政令指定都市である新潟市が位置するなど、人口・資産が集中しており、ひとたび氾濫すると甚大な被害が予想されます。

このため、迅速かつ効果的な対応が可能となるよう、河川防災ステーションの整備を推進します。

整備効果

河川防災ステーションの整備推進により、信濃川下流域における地域防災力の向上を図ります。

平成31年度の事業内容

天野地区の河川防災ステーションの整備を推進します。



イメージパース



^{しなのがわ}信濃川下流 ^{こすど}小須戸 橋梁架替及び堤防嵩上げ の推進 ^{にいがた にいがた}新潟県新潟市 H31事業費 5,265百万円※

※: 信濃川下流河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

^{しなのがわ}信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となりました。また、^{こすど}小須戸橋はもぐり橋となっており、桁下の一部がにもぐり、洪水の安全な流下を阻害するとともに、橋梁の右岸取付部では水防活動により辛水面下うじて越水被害を免れるなど、大変危険な状況となりました。

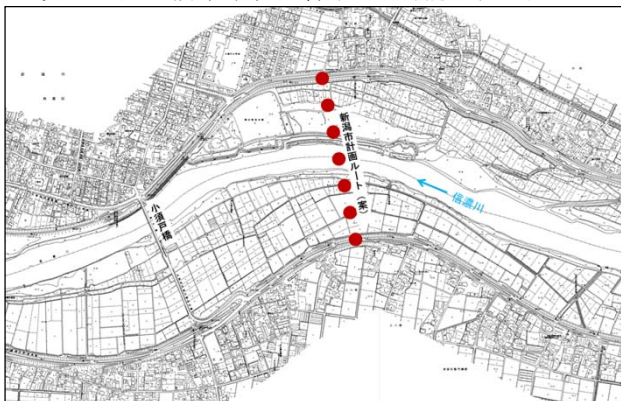
このため、橋梁管理者と連携し、橋梁架替とあわせた^{こすど}小須戸橋右岸取付部の堤防整備（堤防嵩上げ）を推進することにより、^{しなのがわ}信濃川下流域の治水安全度向上を図ります。

整備効果

橋梁架替及び堤防整備（堤防嵩上げ）の推進により、^{しなのがわ}信濃川下流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

^{こすど}小須戸地区の橋梁架替に伴う用地補償等を推進します。



平成23年7月新潟・福島豪雨出水状況



▲【写真上】^{こすど}小須戸橋右岸の水防活動



◀【写真左】出水時の^{こすど}小須戸橋

しなのがわ
信濃川

おおこうづ ぶんすいろ
大河津分水路改修
にいがた ながおか つばめ
新潟県長岡市、燕市

の推進

H31事業費
9,672百万円※

※信濃川河川改修事業のH31全体事業費
(うち大河津分水路改修のH31事業費 7,472百万円)

事業の概要

大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年(1922年)に通水した延長約10kmの人工の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水では、分水路直上流で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。

大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築、橋梁架替等を実施することとしています。

整備効果

大河津分水路の改修により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

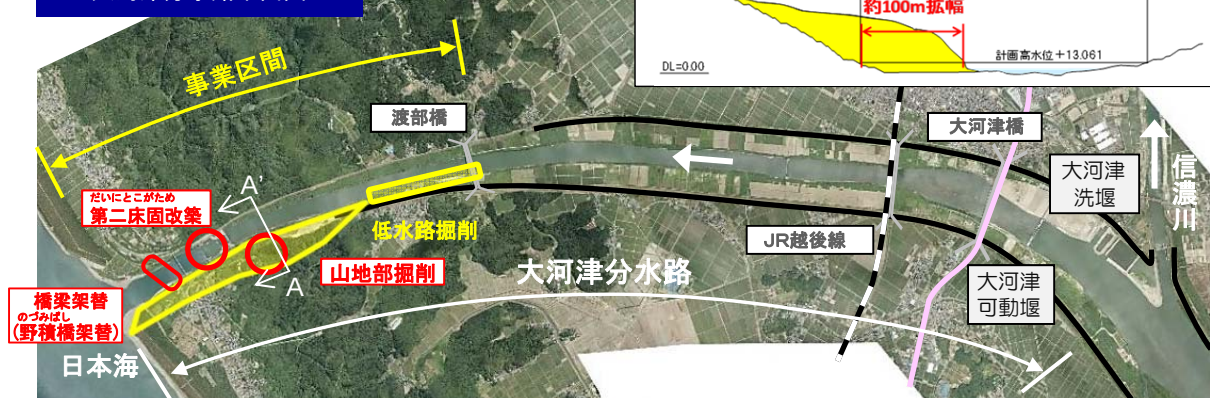
平成31年度の事業内容

山地部掘削、第二床固改築及び橋梁架替の推進など事業進捗を図ります。



流下断面が不足し、抜本的な改修が必要な大河津分水路

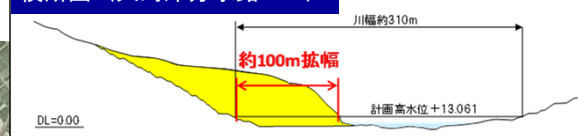
大河津分水路平面図



第二床固付近の状況 (平成23年7月洪水時)



横断面図 (大河津分水路A-A')



^{しなのがわ} **信濃川下流 環境整備 水辺整備の推進**

^{にいがた} ^{にいがた}
新潟県新潟市（やすらぎ堤地区）

**H31事業費
 146百万円※**

※信濃川総合水系環境整備事業のH31全体事業費

事業の概要

^{しなのがわ}
 信濃川水系信濃川の本川下流では、人口・資産が集中する^{にいがた}新潟市中心市街地を貫流するため、洪水防御に加え地震時の堤防の安定性を図るため、5割勾配の緩傾斜堤（やすらぎ堤）の整備を行っています。

これまでも「やすらぎ堤」では各種イベント開催も含めて多くの市民に利用されていますが、さらなる水辺の賑わい創出を目指す取り組みが展開されており、また新潟市との連携による「かわまちづくり支援制度」の登録も受けて、ソフト・ハード両面からの取り組みが進められています。

本事業では、まちづくりと一体となった治水及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を行います。

整備効果

河川利用者の安全確保等のための整備を行い、関係機関とも連携しながら水辺の賑わい創出、地域の活性化を図ります。

平成31年度の事業内容

やすらぎ堤地区において、利用者の多いエリアの河川管理施設の整備（高水敷整正）を推進します。

・位置図



・平面図



・やすらぎ堤利用状況



国と市が連携を図るとともに、民間事業者による商業活動等と一体となって魅力的な水辺整備を推進

信濃川下流水系直轄砂防事業（高棚川砂防堰堤群） の推進

にいがた みなみうおぬま
新潟県南魚沼市

H31事業費
762百万円

事業の概要

信濃川下流水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

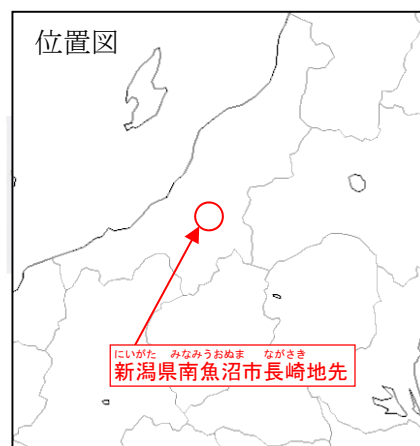
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」および「中小河川緊急治水対策プロジェクト（土砂・流木対策）」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

長崎地区において、高棚川砂防堰堤群の整備を推進します。



既設林道の被災状況



下流の被災状況



既設床固の状況



既設堰堤の堆砂状況

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

姫川水系直轄砂防事業（田中川砂防堰堤）の推進

にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

H31事業費
167百万円

事業の概要

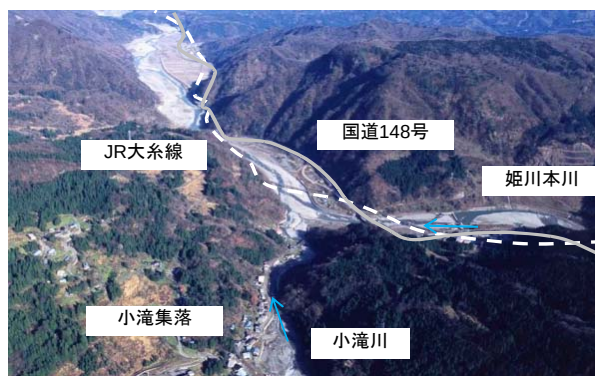
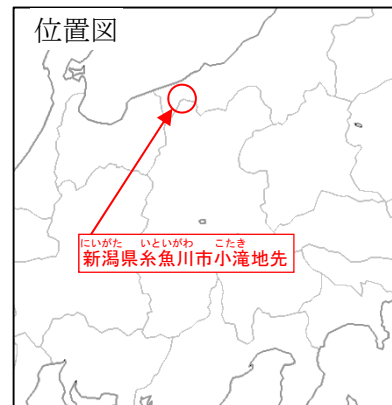
姫川流域は、荒廃が著しく土砂生産が活発であり、平成7年7月には土砂流出により甚大な被害が発生しています。姫川支川小滝川（田中川）では平成28年8月に豪雨により土石流が発生し、下流施設への被害が発生した他、溪流内に不安定土砂が堆積し、今後も土砂災害発生の危険性が非常に高い状態にあることから砂防堰堤工の整備を行います。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、姫川水系の土砂災害に対する安全度向上を図るとともに、直下流の糸魚川市小滝地区を土砂災害から守ります。

平成31年度の事業内容

小滝地区において、田中川砂防堰堤の整備を推進します。



下流の状況



平成7年7月 姫川災害
（流出したJR大系線）

い い で

飯豊山系直轄砂防事業（下中山砂防堰堤群）の推進

しもなかやま
にいがた しばた
新潟県新発田市

H31事業費
208百万円

事業の概要

飯豊山系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

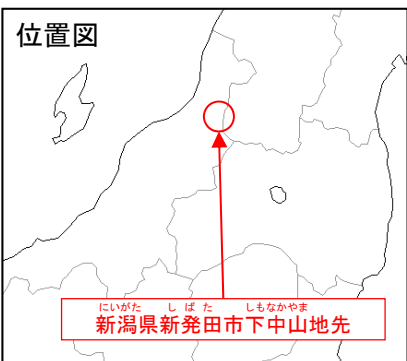
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、避難路等に対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

下中山地区において、穴沢第1号砂防堰堤の整備を推進します。



荒廃状況



穴沢第1号砂防堰堤 計画箇所

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

新潟海岸 侵食・越波対策の推進（金衛町工区）

新潟県新潟市

H31事業費
688百万円※

※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業のH31全体事業費

事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約2.9km）は、海岸侵食の進行が著しく、災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあります。また、周辺海岸は海水浴やサーフィン等、年間を通じた利用が盛んであり、古くから地域に親しまれてきました。

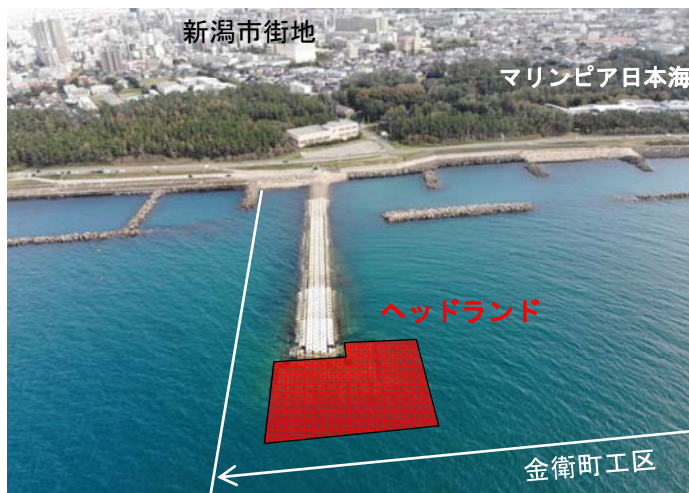
このことから、広域にわたる侵食制御と砂浜の安定を図るため、平成19年度から直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

平成31年度の事業内容

金衛町工区においてヘッドランドの整備を推進します。



冬期風浪状況(平成27年3月)



金衛町工区被災状況(平成18年9月)

あさ ひ あつ み **国道7号 朝日温海道路事業の推進** にいがた むらかみ やまがた つるおか **新潟県村上市・山形県鶴岡市**

(※)
H31事業費
8,500百万円

(※)H31年度事業費は北陸地方整備局分

事業の概要

あさ ひ あつ み
 朝日温海道路は、高規格幹線道路にほんかいえんがんとうほく日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次救急医療機関へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とした道路であり、新潟県内では、村上市川端から山形県境間の延長約34.1kmで事業を推進しています。

整備効果

- ・災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保
- ・第3次救急医療機関へのアクセス性向上
- ・周遊性の向上による観光振興、地域産業の活性化

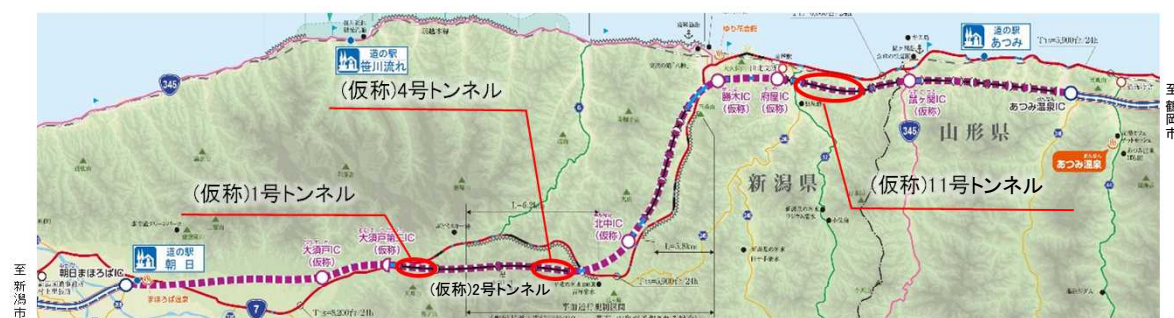
平成31年度の事業内容

現在、新潟県内では、用地買収、改良工事を推進するとともに、(仮称)1号トンネル工事では2020年の工期末※を目指し工事を推進しています。(H31年3月末時点で約6割(約570m/1,007m)掘削)

平成31年度は、引き続き(仮称)1号トンネル、用地買収、改良工事を推進するとともに、(仮称)4号・11号トンネル、及び橋梁上下部工事に着手する予定です。

(仮称)1号トンネル完成後に、最も規模の大きい(仮称)2号トンネル(約2,600m)に着手することを計画しており、その他の構造物についても計画的に着手できるよう、引き続き用地買収、工事用道路整備等を進捗し、早期開通を目指します。

※：地質の状況や掘削の進捗状況により工事竣工時期が変更となる場合があります。



▲朝日まほろばICから鶴岡市方向を望む



▲(仮称)1号トンネルの掘削状況

国道7号 栗ノ木道路事業の推進

新潟県新潟市

H31事業費 1,330百万円

事業の概要

栗ノ木道路は、地域高規格道路「新潟南北道路」の一部を形成し、国道7号の新潟市中心部の慢性的な交通渋滞の緩和による、新潟市中心部へのアクセス向上、及び交通事故の削減を目的とした、新潟市中央区沼垂東2丁目から同区鏡に至る延長約1.4kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・市街地部での慢性的な交通渋滞の緩和、交通事故の削減
- ・中心市街地へのアクセス向上およびまちづくり支援

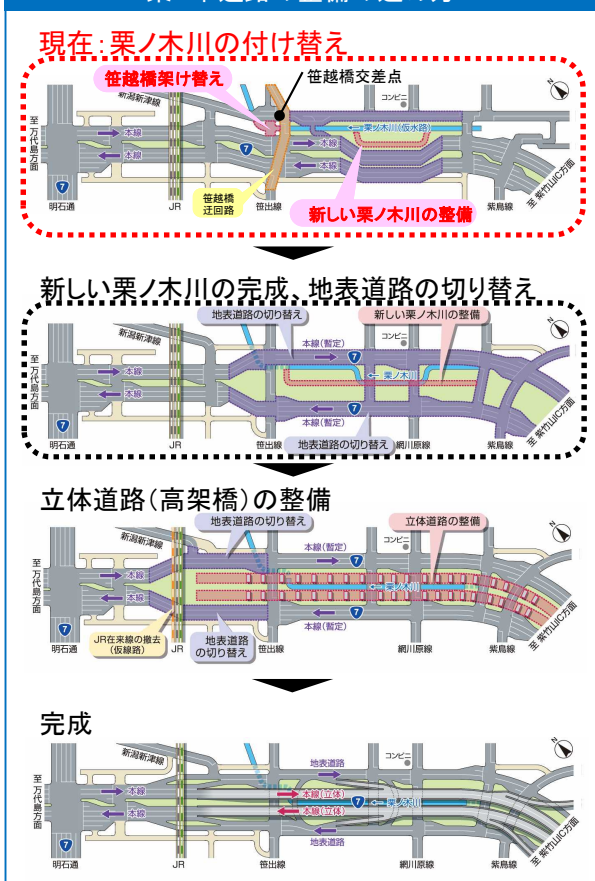
平成31年度の事業内容

現在、立体道路(高架橋)整備にむけて必要となる用地買収、及び栗ノ木川の付替工事(笹越橋交差点での河川付替工事含む)を推進しています。

平成31年度は、引き続き用地買収、改良工事、栗ノ木川付替工事を推進し、立体道路(高架橋)整備に向け必要となる『地表道路への交通切り替え』を早期に実施できるよう事業を推進します。



栗ノ木道路の整備の進め方



栗ノ木川整備状況



国道 8 号 ^{かしわざき} 柏崎バイパス事業の推進

^{にいがた} ^{かしわざき}
新潟県柏崎市

H31 事業費 2,500 百万円

事業の概要

^{かしわざき} 柏崎バイパスは、国道 8 号の ^{かしわざき} 柏崎市街地における交通渋滞の緩和と都市内交通の円滑化を目的とした、^{かしわざき} ^{ながさき} 柏崎市大字長崎から同市大字 ^{くじらなみ} 鯨波に至る延長約 11.0 km のバイパス整備事業です。

整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 交通事故の削減
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成

平成 31 年度の事業内容

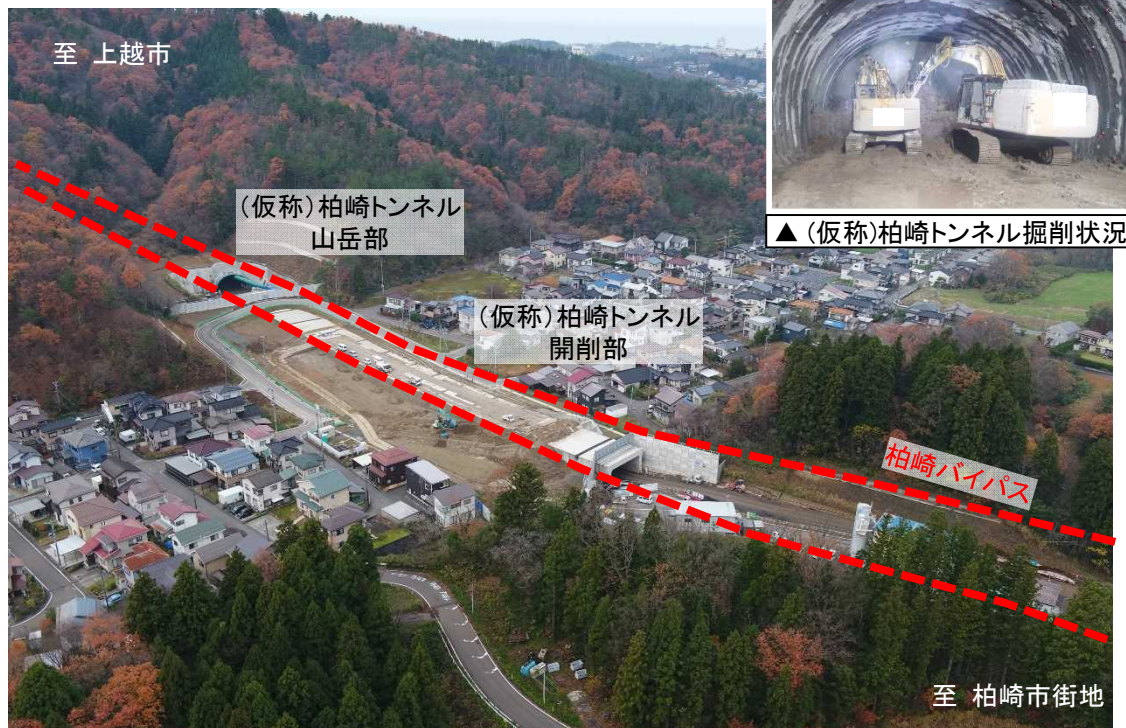
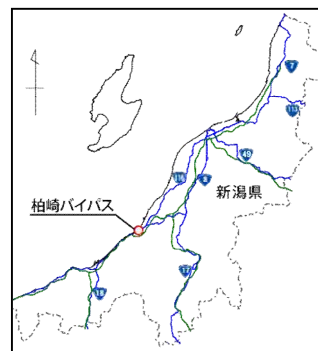
現在、^{かしわざき} ^{じょうとう} ^{くじらなみ} 柏崎市城東～鯨波間では、(仮称) ^{かしわざき} 柏崎トンネル(山岳部)において 2020 年の工期末※を目指し工事を推進しています。

(H31 年 3 月末時点で約 4 割 (約 400m/1,128m) 掘削)

平成 31 年度は、引き続き (仮称) 柏崎トンネル工事を推進するとともに、^{ひがしはらまち} ^{いばらめ} 東原町～茨目間にてトンネル掘削残土を利用した改良工事などを推進します。

引き続きトンネルの早期完成に向けて工事を推進するとともに、トンネル完成後の開通にむけて事業を推進します。

※地質の状況や掘削の進捗状況により工事竣工時期が変更となる場合があります。



国道49号 水原バイパス事業の推進

すいばら
にいがた あがの
新潟県阿賀野市

H31事業費 2,000百万円

事業の概要

水原バイパスは、国道49号の阿賀野市街地における交通渋滞の緩和および道路交通の安全・円滑化を目的とした、阿賀野市寺社から同市下黒瀬に至る延長約8.1kmのバイパス整備事業です。

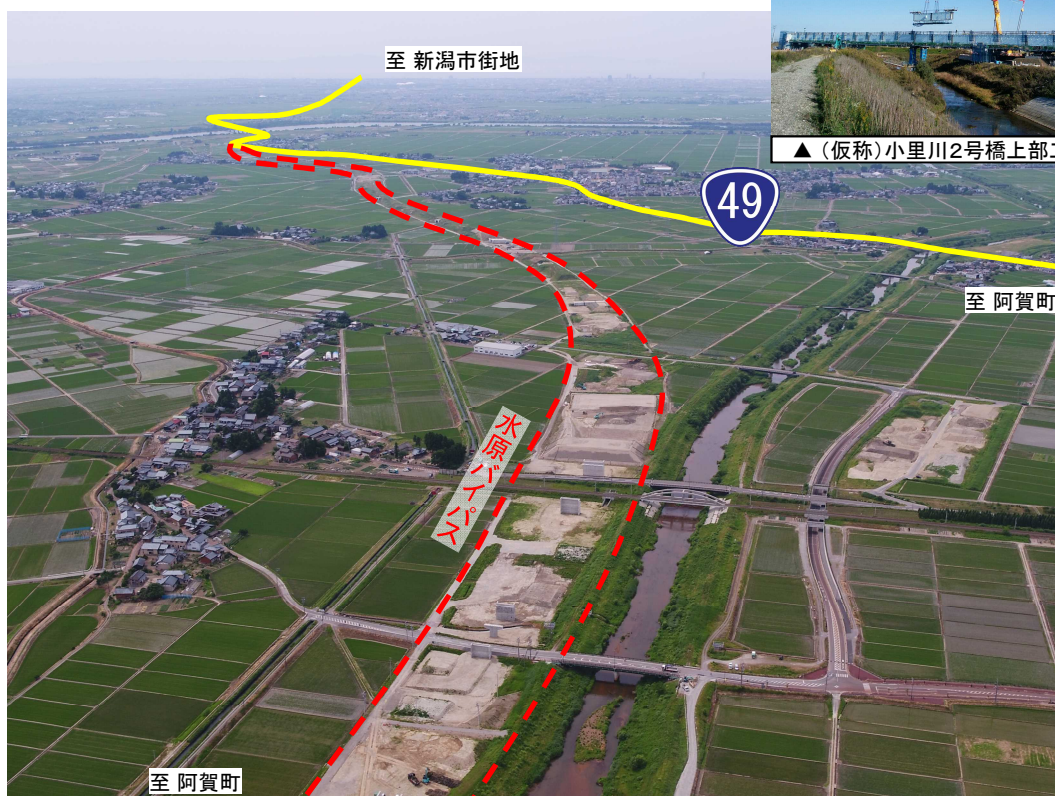
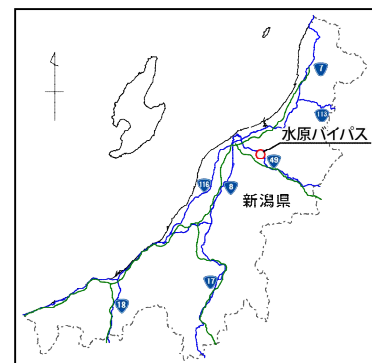
整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和および交通事故の削減
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成
- ・ 地域産業・観光の活性化

平成31年度の事業内容

現在、全6箇所の橋梁のうち、5橋で橋梁上下部工事を推進するとともに、全線で改良工事を推進しています。

平成31年度は、引き続き用地買収、橋梁上下部工事及び改良工事を推進するとともに、残る1橋の橋梁下部工事に着手し、2021（H33）年度の開通に向けて事業を推進します。



▲（仮称）小里川2号橋上部工の施工状況

はちじゅうりごえ **国道289号 八十里越事業の推進** にいがた さんじょう ふくしま みなみあいづ ただみまち **新潟県三条市・福島県南会津郡只見町**

H31事業費
 2,800百万円

事業の概要

はちじゅうりごえ
 八十里越は、国道289号の新潟・福島県境の通行不能区間の解消を目的とした、にいがた さんじょう新潟県三条市
しおのふち ふくしま みなみあいづ ただみまち塩野から福島県南会津郡只見町に至る延長11.8kmの道路整備事業です。

整備効果

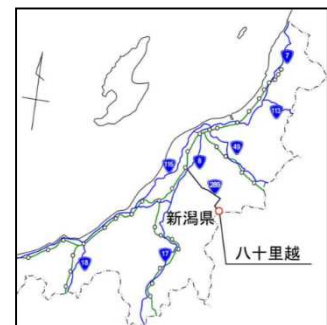
- ・通行不能区間の解消
- ・救急医療施設へのアクセス向上

平成31年度の事業内容

はちじゅうりごえ
 現在、八十里越では全10橋のうち3橋、全11トンネルのうち2トンネルにおいて工事を推進しています。

平成31年度は、引き続き3橋の橋梁工事、2箇所のトンネル工事、改良工事を推進するとともに、（仮称）3号、4号トンネル工事に着手する予定です。

八十里越では、平成31年度で全てのトンネルが着手済みとなる予定です。今後とも早期完成に向けて工事を推進します。



■八十里越 大規模構造物の進捗状況

	全数	うち完成	うち着手済	H31年	未着手
橋梁	10橋梁	5橋梁	3橋梁	(継続3橋梁)	2橋梁
トンネル	11箇所	7箇所	2箇所	2箇所着手 (継続2箇所)	—



にいがた にしこう
新潟港 西港区
航路浚渫事業の推進
にいがた にいがた
新潟県新潟市

H31事業費 4,200百万円

事業の概要

にいがた にしこう
新潟港西港区は、離島航路や長距離フェリーが発着するなど、人流・物流の拠点として重要な役割を担っています。

船舶の安定運航を確保するため、航路泊地の浚渫事業を推進します。

整備効果

船舶の安定運航が確保されます。

平成31年度の事業内容

航路泊地の整備を推進します。

【位置図】



にいがた にしこう
新潟港 西港区
臨港道路に関する緊急対策
にいがた にいがた
新潟県新潟市

H31事業費 72百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、トンネル機能に支障があるため、トンネル部の改良を緊急対策として実施します。

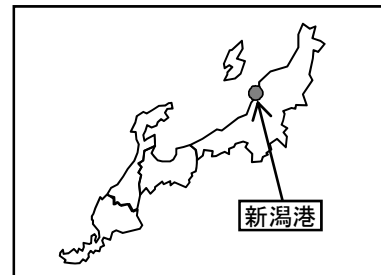
整備効果

トンネル部の改良により災害時に港湾機能が停止することを防止します。

平成31年度の事業内容

道路(トンネル)の改良を推進します。

【位置図】



にいがた にしかいがん
新潟港海岸 西海岸地区
直轄海岸保全施設整備事業の推進

にいがた にいがた
新潟県新潟市

H31事業費 1,461百万円

事業の概要

にいがた
新潟港海岸西海岸地区では、背後地域の土地や資産を防護するため、離岸堤＜潜堤＞、突堤、護岸＜養浜＞を組み合わせた面的防護工法により、侵食対策を推進します。

整備効果

背後地域の侵食・浸水被害に対する安全が確保されます。

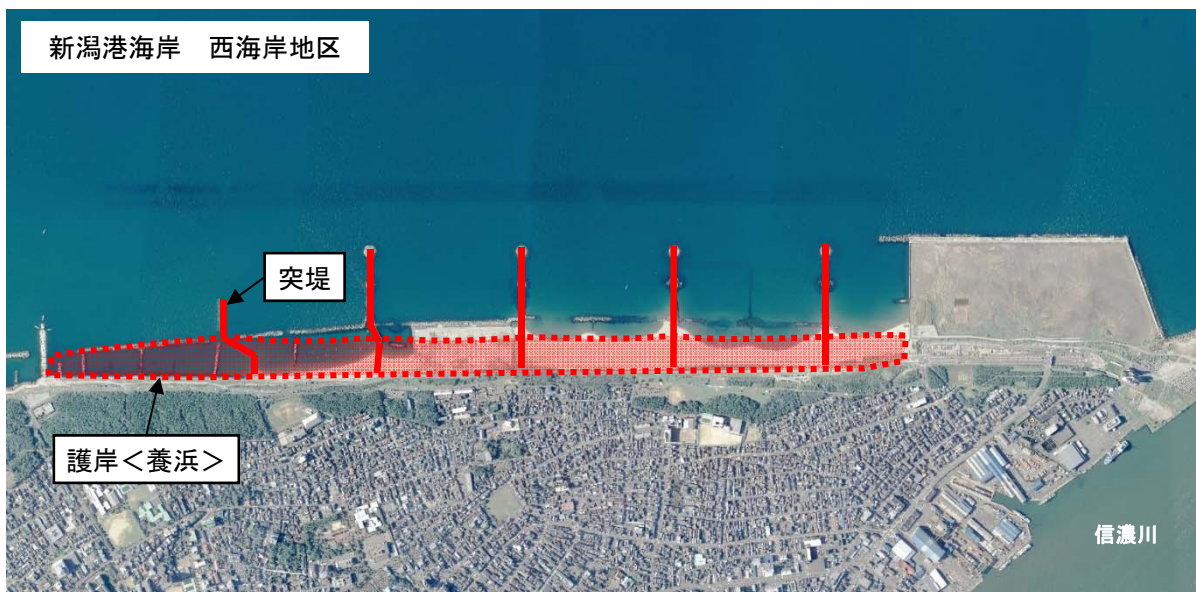
平成31年度の事業内容

護岸＜養浜＞、突堤の整備を推進します。

【位置図】



新潟港海岸 西海岸地区



新潟空港 基本施設に関する緊急対策

新潟県新潟市

H31事業費 231百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、施設が浸水する可能性が懸念されるため、護岸の嵩上げや排水機能強化を緊急的に実施します。

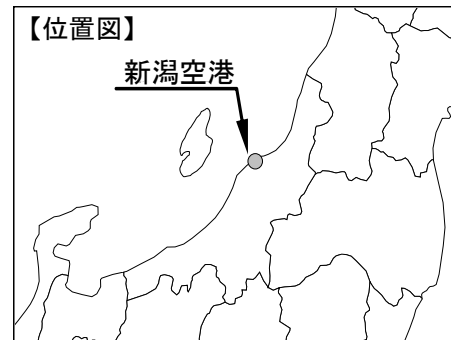
整備効果

護岸の嵩上げや排水機能を強化することで浸水被害を防止します。

平成31年度の事業内容

浸水対策を実施します。

【位置図】



えちごきゅうりょう 国営越後丘陵公園の整備推進

にいがた ながおか
新潟県長岡市

H31事業費 1,056百万円

事業の概要

えちごきゅうりょう
国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

整備効果

平成10年7月の開園（29ha）以来、平成15年度までに「健康ゾーン」（約120ha）を全面開園し、平成30年6月までに「里山フィールドミュージアム」の一部（全体約280haの内、西側部分約220ha）を開園しています。

平成10年の開園から入園者数は年々増加しており、平成27年度は過去最高の55万人を記録するとともに、平成24年以降年間約50万人の入園者数を記録しています。

また、災害時の避難地確保や自衛隊との協定による救援活動の場の確保など広域的な防災拠点として地域防災力強化に寄与しています。

平成31年度の事業内容

さとやま
里山フィールドミュージアムにおいて、園路整備を推進します。



にし またがわ

西又川河川災害復旧等関連緊急事業の推進

にいがた うおぬま
新潟県魚沼市

H31事業費
160百万円

事業の概要

平成29年7月の梅雨前線豪雨により、魚沼市の信濃川水系西又川流域において、家屋等の浸水被害が発生しました。このため、緊急的かつ集中的に事業を実施することにより、再度災害の防止を図ることを目的として、河道掘削や築堤等を行い流下断面を確保します。

整備効果

河道掘削や築堤等の実施により、信濃川水系西又川流域の治水安全度の向上が図られます。

平成31年度の事業内容

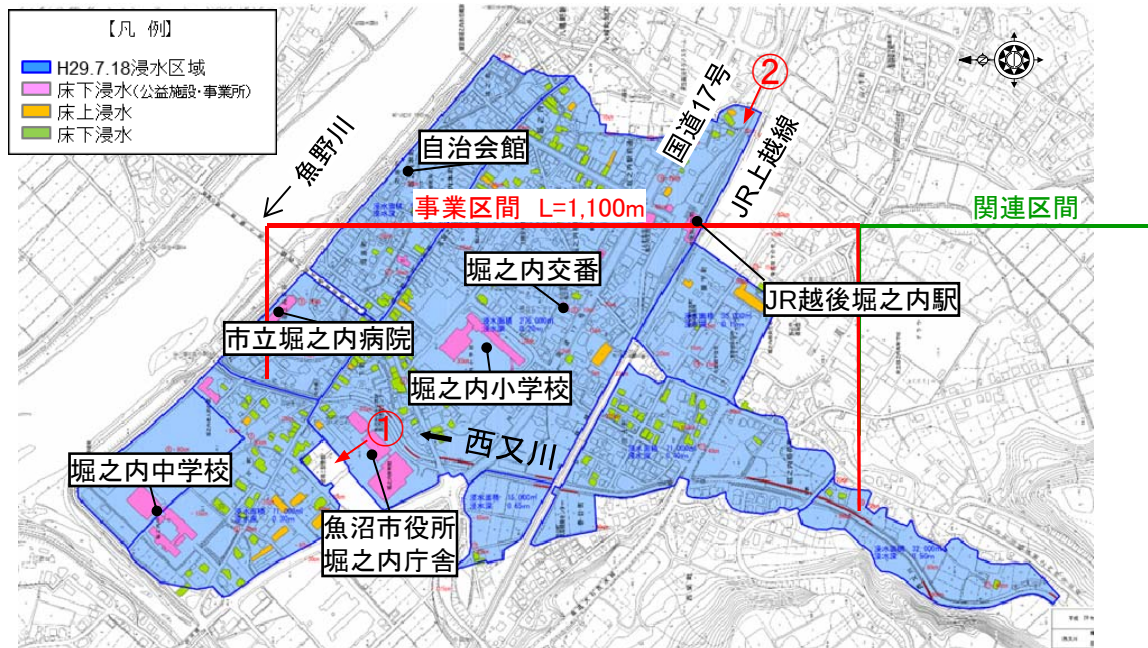
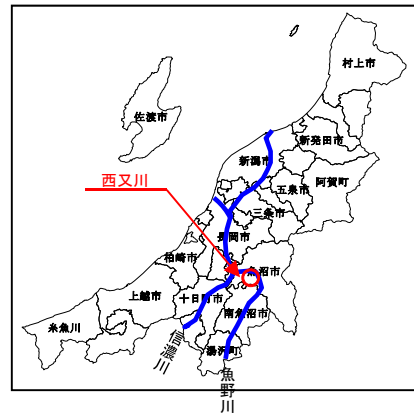
堀之内地区において、流下能力の向上を図るため、河道掘削や築堤等の河道拡幅、JR上越線の鉄道橋の設計を行い、河川整備を推進します。



①堀之内庁舎の浸水状況



②鉄道線路の浸水状況



鵜川^{うかわ}ダム建設事業の促進

にいがた かしわぎ
新潟県柏崎市

H31事業費
3,424百万円

事業の概要

鵜川^{うかわ}ダム建設事業は、ダム下流域である柏崎^{かしわぎ}市の洪水被害軽減を図るための「洪水調節」、及び「流水の正常な機能の維持」を目的としたダム建設事業です。

整備効果

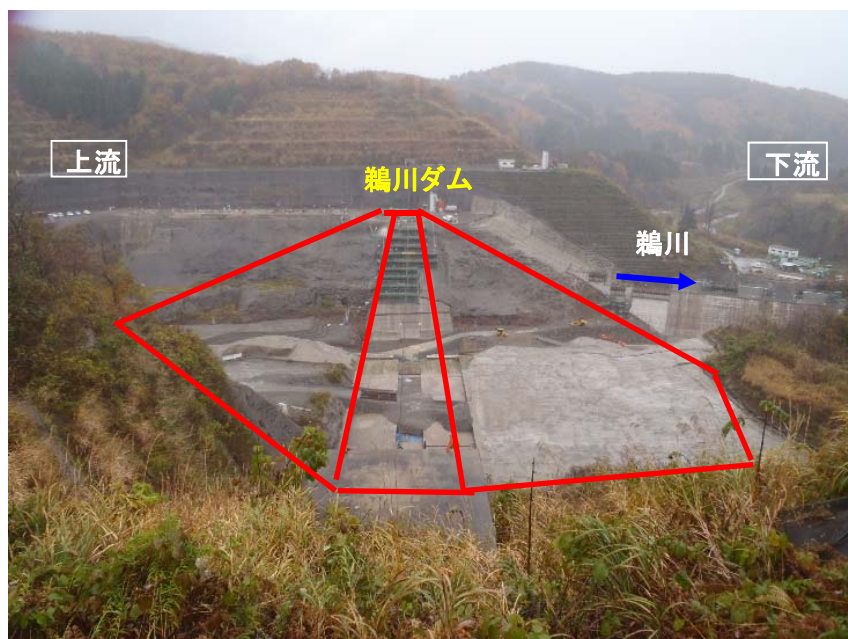
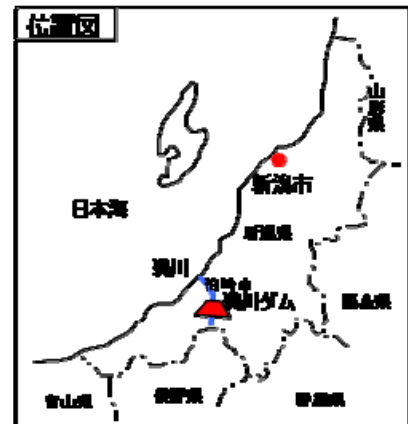
ダム地点において毎秒110m³の洪水調節を行い、流域の洪水被害の軽減を図ります。
また、流水の正常な機能の維持を図ります。

平成31年度の事業内容

平成31年度は、ダム本体工事等を推進します。



鵜川ダム完成予想図



航空写真 (右岸よりダムサイトを臨む 平成30年11月撮影)

じょうえつうおぬま
[地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路]

国道 253 号 三和安塚道路事業の推進

にいがた じょうえつ
新潟県上越市

H31事業費 1,155百万円

事業の概要

さんわやすづか じょうえつ さんわ ほんごう やすづか まつざき じょうえつうおぬま
三和安塚道路は、上越市三和区本郷から同市安塚区松崎間の延長約 9.4 km において、「上越魚沼地域振興快速道路」の一部を構成するとともに、現道の狭小幅員区間、線形不良区間を迂回し、物流の効率化及び地域間交流の支援を図る事業です。

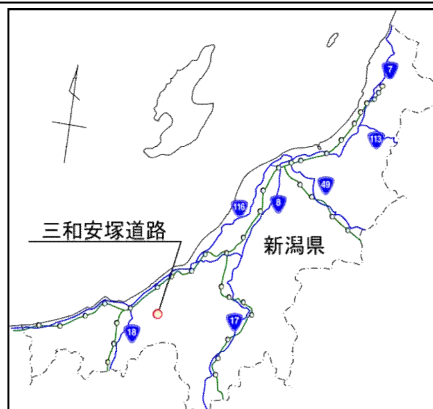
整備効果

- ・北陸新幹線駅（上越妙高駅）及び重要港湾（直江津港）へのアクセス向上
- ・日常活動圏中心都市（上越市）へのアクセス向上
- ・主要な観光地（雪だるま温泉等）へのアクセス向上
- ・緊急救命施設（県立中央病院）へのアクセス向上

平成 31 年度の事業内容

さんわ ほんごう うらがわら やまもと
現在、三和区本郷地先～浦川原区山本間の延長約 4.7 km 間において、開削トンネル工事を推進するとともに、全線で改良工事を推進しています。

平成 31 年度は、引き続き、改良工事、開削トンネル工事を推進するとともに橋梁工事に着手します。



[I Cアクセス]

新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）事業の推進

新潟県新潟市

H31事業費 2,603百万円

事業の概要

新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）は、多核連携型の新潟都市圏を環状に連絡する主要幹線道路であり、北陸自動車道黒埼スマートICの機能強化に合わせ、物流、救命ネットワークの活性化等を目的とし、新潟市南区上塩俵～同市西区明田までの延長約5.8kmを整備する事業です。

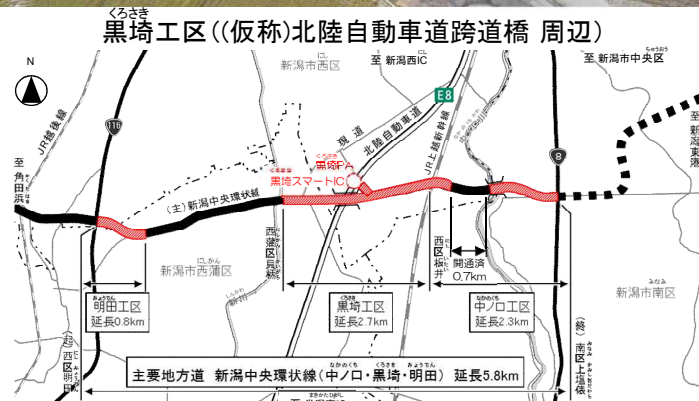
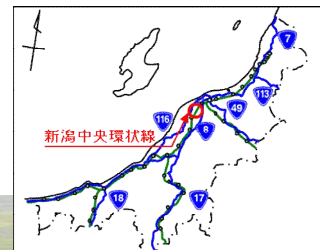
整備効果

- ・災害時における円滑な交通を確保し、地域拠点間の連携と強靱化を推進
- ・救急・救命・救助活動の30分圏域のカバー率が拡充
- ・黒埼スマートICと工業団地などを接続し、新たな物流軸の構築による成長産業の育成・地域の活性化を支援
- ・西区・西蒲区・南区に点在する、歴史・文化・観光資源の価値と魅力をつなぐネットワークを構築

平成31年度の事業内容

現在、南区上塩俵から西区明田間の開通済0.7kmを除く延長約5.1kmにおいて、全4橋のうち1橋で橋梁上下部工を推進するとともに、全線で改良工事を推進しています。

平成31年度は、用地買収、改良工事及び橋梁工事を推進します。



ひめかわ にしふとう
姫川港 西ふ頭地区
国内物流ターミナル整備事業の促進

にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

H31事業費 180百万円

事業の概要

ひめかわ
姫川港は、背後地域における国内物流の拠点として重要な役割を担っています。船舶の大型化への対応のため、物流ターミナルの整備を促進します。

整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

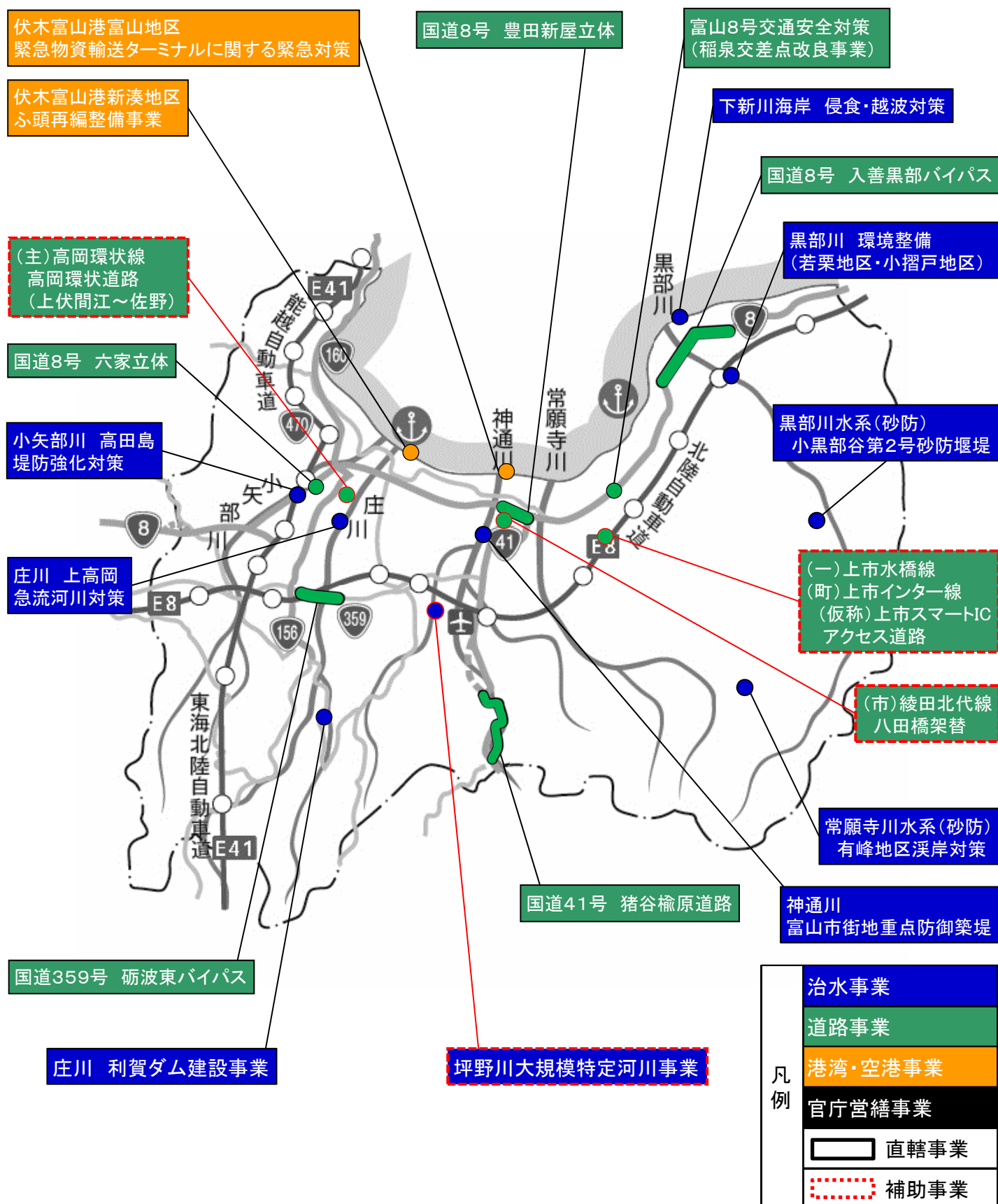
平成31年度の事業内容

岸壁の整備を促進します。

【位置図】



富山県内の主要事業



神通川 富山市街地重点防御築堤 の着手

富山県富山市

H31事業費
1,753百万円※

※神通川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

神通川は県都富山市を貫流する河川であり、特に富山市の安野屋地区は背後地に市街地・公共施設・主要交通網（新幹線・鉄道・国道・主要地方道等）を抱える重要な地域となっています。

このため、当該地区が堤防の決壊による洪水はん濫が発生した場合には、富山市街地等が浸水し、甚大な被害になることが予想されます。

一方、当該地区は、堤防の高さや幅が不足している弱小堤区間になっています。また、神通川は急流河川であることから洪水の流れが強く、堤防の侵食を受けやすいことから、これらの要因によって堤防が決壊に至る危険があります。

このため、堤防整備（嵩上げ、拡幅）及び侵食対策（護岸整備）に着手します。

事業効果

堤防整備（嵩上げ、拡幅）及び侵食対策の着手により、神通川の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

安野屋地区の堤防整備（嵩上げ、拡幅）及び侵食対策に着手します。



国道 8 号 ^{ろっけ} 六家立体事業の新規事業化

^{とやま} ^{たかおか}
富山県高岡市

H31 事業費 50 百万円

事業の概要

^{ろっけ} ^{たかおか} 六家立体は、地域高規格道路高岡環状道路の一部を構成し、^{のうえつ} 能越自動車道、国道 8 号、^{たか}（主）高岡環状線が平面で接続する高岡インター入口交差点の立体化整備により、当該交差点の渋滞解消、国道 8 号の通過交通の分散を促すことによる混雑緩和及び物流効率化による地域産業の支援を目的とした高岡市石塚から同市六家に至る延長約 1.3 km の交差点立体化事業です。

整備効果

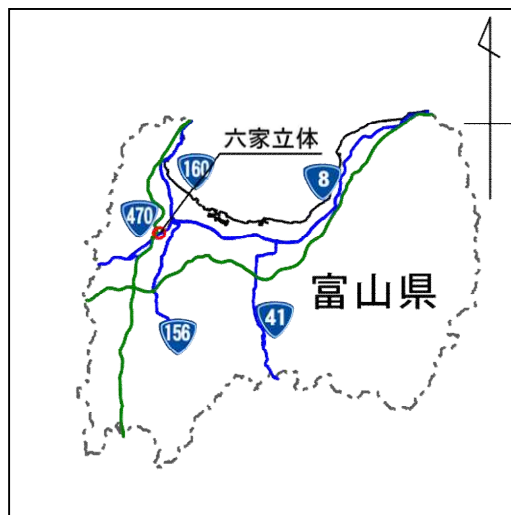
- ・ 国道 8 号の通過交通の分散を促し、円滑な東西交通ネットワークを形成
- ・ 物流効率化による地域産業の支援

平成 31 年度の事業内容

平成 31 年度より、測量、道路設計に着手します。



▲ 国道8号高岡インター入口交差点付近の渋滞状況



とやま
富山 8 号交通安全対策
いないずみ
(稲泉交差点改良事業) の新規事業化
とやま なめりかわ
富山県滑川市

H31事業費 12百万円

事業の概要

当該箇所は、主要地方道箕輪・滑川インター線が交わる交差点であり、上下線で交差点手前での前方車両の急減速・急停止に伴う後続車両の追突事故が発生しています。特に、魚津市から富山市に向かう車線は下り勾配であるため、速度超過を誘発し、滑川IC方向へ向かう左折車への追突事故が多発しています。平成24年度には、注意喚起看板及び路面標示による対策を実施しましたが、対策後の死傷事故率は高い状況です。

本事業は、左折車線を設置することにより、交差点付近の追突事故等の防止を図るものです。

整備効果

- ・ 左折車線の設置による事故の防止

平成31年度の事業内容

平成31年度より、調査設計に着手します。



ふ し き と や ま し ん み な と
伏木富山港 新湊地区
ふ頭再編整備事業の推進
と や ま い み ず
富山県射水市

H31事業費 402百万円

事業の概要

ふ し き と や ま し ん み な と
伏木富山港新湊地区では、船舶の大型化、取扱貨物の増加に対応するため、中央2号岸壁の増深改良(水深14m化)を行うとともに、一部係留施設の廃止、貨物の集約、ふ頭用地の利用方法を見直すなど、ふ頭の再編を図ります。

整備効果

大水深岸壁（水深14m）不足から発生する非効率な荷役形態が解消されます。

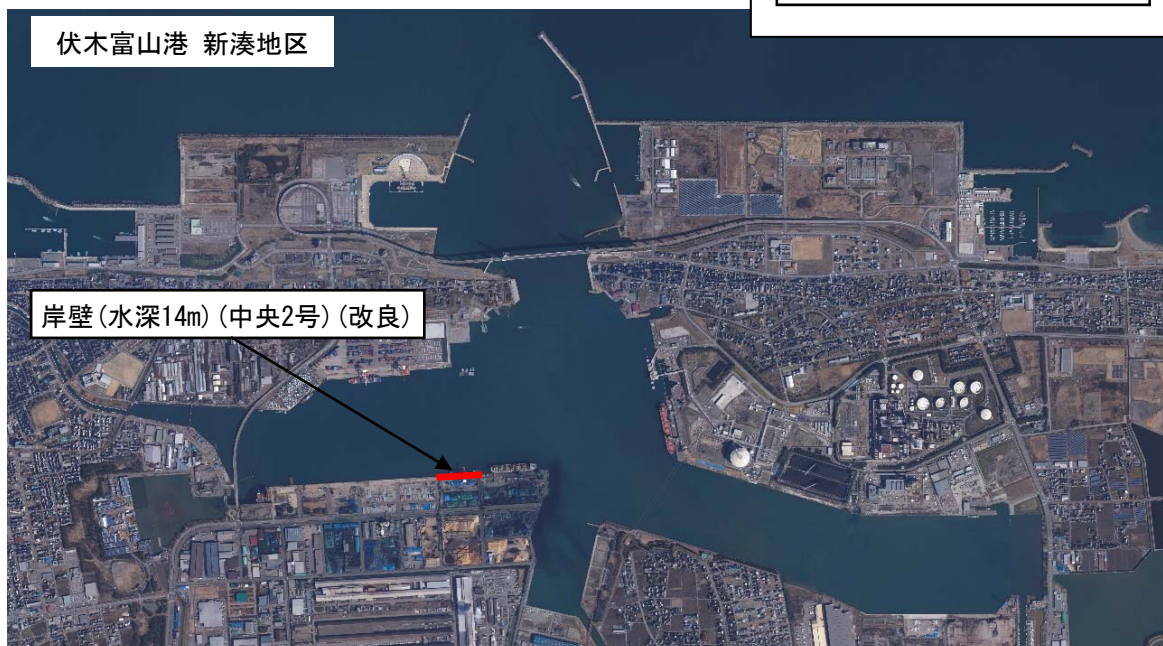
平成31年度の事業内容

岸壁の増深改良を推進します。

【位置図】



伏木富山港 新湊地区



つぼのがわ
坪野川大規模特定河川事業の着手
とやま とやま
富山県富山市

H31事業費
450百万円

事業の概要

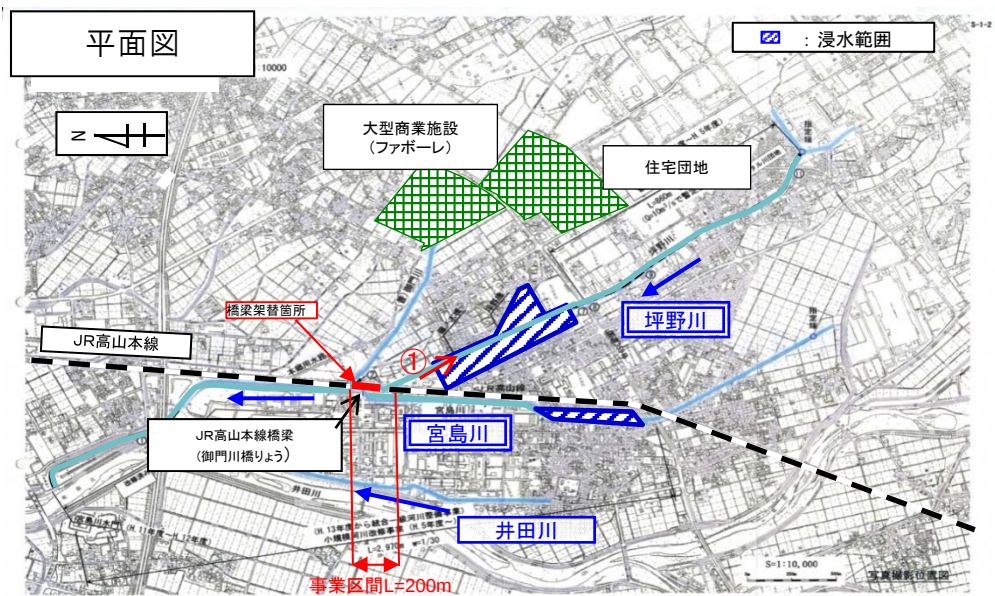
神通川水系坪野川は、富山市内の住宅密集地を流下しており、鉄道橋などが支障となって平成20年豪雨による洪水等で甚大な被害が発生しました。このため補助事業により、鉄道橋の架替を集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

整備効果

河道拡幅や鉄道橋架替等の実施により、治水安全度の向上を図ります。

平成31年度の事業内容

速星地区において、河道拡幅、鉄道橋架替の実施により、治水安全度の向上を図ります。



おやべがわ
小矢部川

ただいま
高田島

とやま たかおか
富山県高岡市

堤防強化対策の完成

H31事業費
392百万円※1

※1：小矢部川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

小矢部川は蛇行河川であり、過去から氾濫を繰り返してきた河川のため、現況堤防の下が旧河道である箇所も多く、すべり、パイピングの恐れのある箇所が多く存在します。当該箇所は、浸透とパイピングで共に危険と判断された箇所であり、洪水を安全に流すことができない状態にあります。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※2)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、堤防強化対策(浸透対策)を完成します。

整備効果

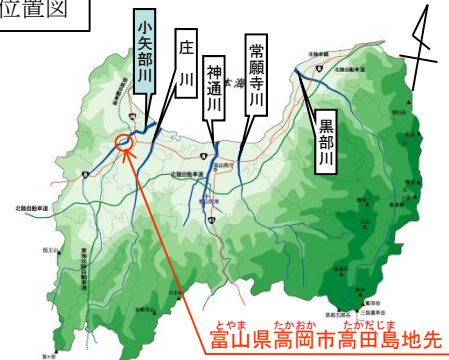
堤防強化対策(浸透対策)の完成により、小矢部川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

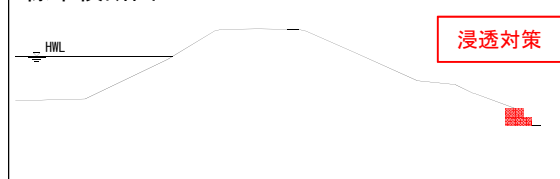
ただいま
高田島地区の堤防強化対策(浸透対策)を完成します。



位置図



標準横断面図



※2：「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

国道359号 となみひがし 砺波東バイパス事業の完成 とやま となみ 富山県砺波市

H31事業費 144百万円

事業の概要

砺波東バイパスは、国道359号の道路幅員狭小による除雪障害を解消し、冬期間における交通の確保および交通安全の確保を目的とした、となみ 砺波市せりだに 芹谷から同市高道に至る延長約6.1kmのバイパス整備事業です。

整備効果

- ・災害に強い道路ネットワークの形成
- ・急カーブ区間、道路幅員狭隘区間の解消
- ・冬期間の路肩堆雪による交通障害の解消

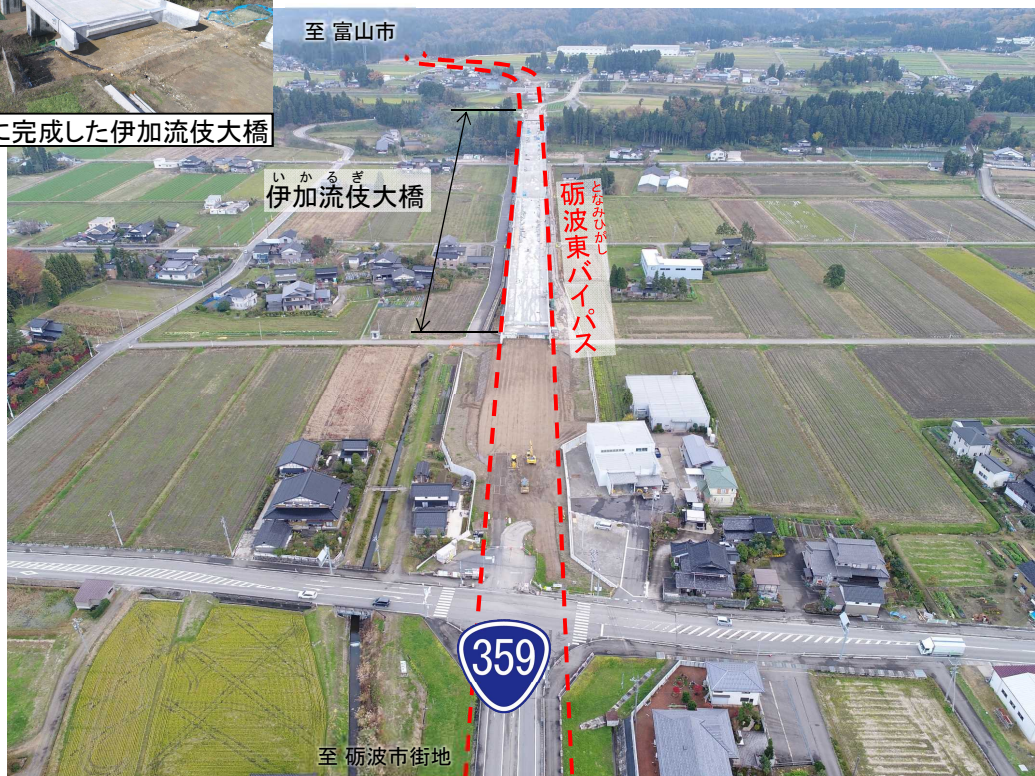
平成31年度の事業内容

平成31年1月末に大規模構造物である伊加流伎大橋（延長420m）が完成しました。

平成31年度は、舗装工事を推進し、2019（H31）年度の全線開通に向けて事業を推進します。



▲ H31.1末に完成した伊加流伎大橋



庄川 上高岡 急流河川対策 の推進

とやま たかおか
富山県高岡市

H31事業費
421百万円※1

※1: 庄川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

庄川は、富山、砺波平野及び射水平野を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きい。そのため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

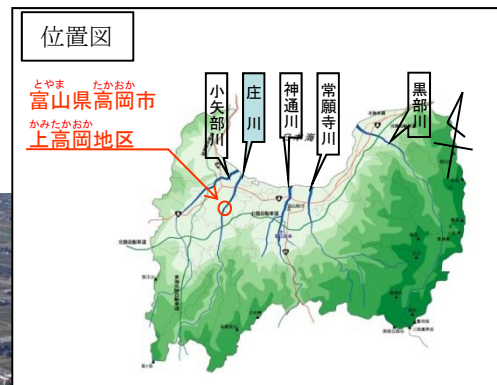
このため、庄川特有の急流河川の洪水時の強大なエネルギーに対し、洗掘、侵食に対する安全度が低く、なおかつ背後資産の大きい箇所に対して、急流河川対策（侵食対策）を行います。

整備効果

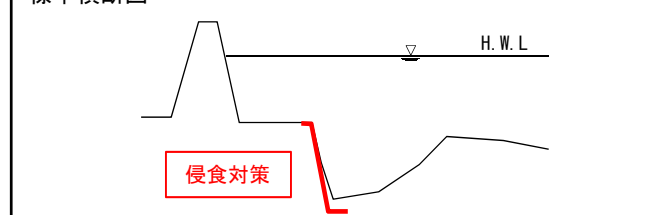
急流河川対策（侵食対策）の推進により、庄川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

上高岡地区の急流河川対策（侵食対策）を推進します。



標準横断面図



くろべがわ
黒部川 環境整備 自然再生の推進
 とやま くろべ しもにいかわ にゅうぜんまち わかぐり こすりど
富山県黒部市・下新川郡入善町（若栗地区・小摺戸地区） H31事業費
 75百万円※

※黒部川総合水系環境整備事業のH31全体事業費

事業の概要

くろべがわ
 黒部川は、かつて急流河川特有の植生や魚類が多く生息する豊かな自然環境を有していたが、みお筋の固定化や河道内の二極化の進行により礫河原や瀬・淵等の多様な河川環境が減少しています。

本事業は、河道掘削を行うことにより、礫河原再生、瀬の造成、淵の形成を実施し、多様な生物の生息・生育・繁殖環境の再生を図ります。

整備効果

くろべがわ
 多様な生物の生息・生育・繁殖環境の再生を進めることで、黒部川本来の自然環境の再生を図ります。

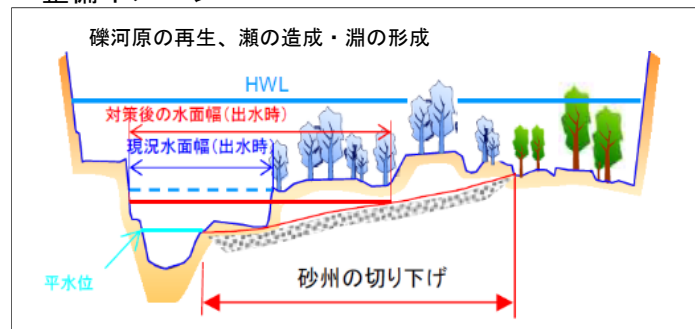
平成31年度の事業内容

わかぐり こすりど
 若栗地区・小摺戸地区において、礫河原再生、瀬の造成、淵の形成を推進します。

・位置図



・整備イメージ



・整備済み箇所



・平面図



とが 利賀ダム建設事業

とやま なんと
富山県南砺市

H31事業費 2,461百万円

事業の概要

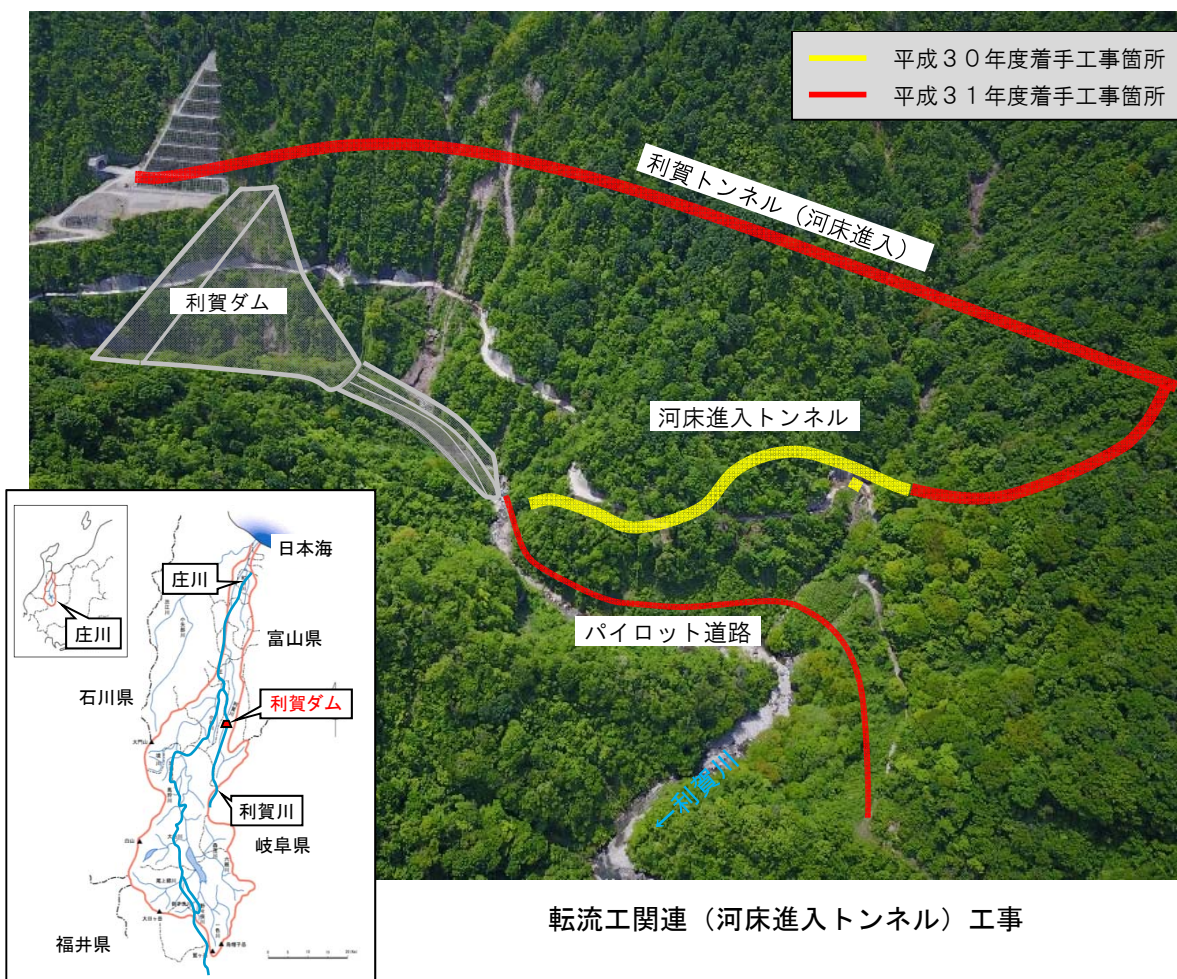
庄川は、これまで幾度も洪水が発生し甚大な被害が発生しています。また、発電、かんがい、工業用水などの水源として広く利用されていますが、しばしば渇水の被害が発生しています。

そのため、庄川の支川である利賀川に、「洪水調節」、「流水の正常な機能の維持」、「工業用水」を目的とした多目的ダムである利賀ダムの建設を、平成5年度より進めています。

- 目的
・洪水調節（庄川の洪水防御（富山県の5市））
・流水の正常な機能の維持
・工業用水の供給（富山県企業局：8,640m³/日（0.1m³/s））
- 諸元
堤高：112m、総貯水容量：3,110万m³
- 経緯
平成元年度 実施計画調査着手
平成5年度 建設事業着手
平成28年度 ダム検証対応方針「継続」（平成28年8月）

平成31年度の事業内容

転流工関連工事、工事用道路工事 等を実施する予定です。



じょうがんじがわ

ありみね

けいがんたいさく

常願寺川水系直轄砂防事業（有峰地区溪岸対策）の推進

とやま とやま なかにいかわ たてやままち
富山県富山市、中新川郡立山町

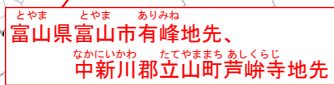
H31事業費
430百万円

じょうがんじがわ

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

有峰地区において、溪岸対策の整備を推進します。



An aerial photograph of a mountainous landscape. A red circle highlights a specific area on a mountain slope. A blue arrow points to a river labeled '湯川' (Yûkawa) in the lower right corner. The terrain is rugged with patches of green vegetation and light-colored soil or rock.

H23. 6攝影(崩壞後)

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuvouinfura/index.html>

くろべかわ 黒部川水系直轄砂防事業 (こくろべだに 小黒部谷第2号砂防堰堤) の 推進

とやま くろべ
富山県黒部市

H31事業費
289百万円

事業の概要

くろべかわ
黒部川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「中小河川緊急治水対策プロジェクト(土砂・流木対策)」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、保全対象に対する土砂・流木を伴う洪水による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

くろべ こくろべだに
黒部地区において、小黒部谷第2号砂防堰堤の整備を推進します。



※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

しもにいかわ

下新川海岸

そのけ 園家地区
侵食・越波対策の推進

とやま しもにいかわ にゅうぜんまち
富山県下新川郡入善町

H31事業費

1,778百万円※

※下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業のH31全体事業費

事業の概要

しもにいかわ とやまわん よ まわ ふろう
下新川海岸は、富山湾特有の「寄り回り波」や「冬期風浪」といった高波浪の影響で越波や海岸侵食の被害が生じており、平成20年2月24日の高波被害では、直立堤や離岸堤等の海岸保全施設が被災し、越波により背後地の家屋に浸水被害が発生しました。

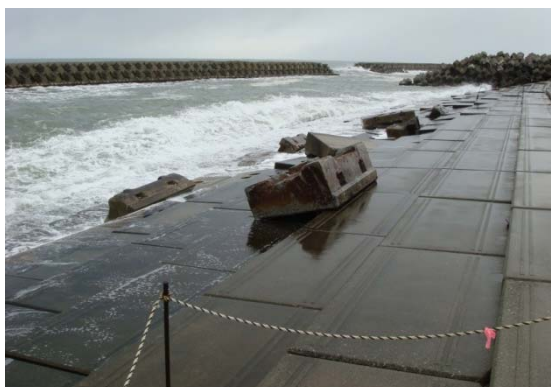
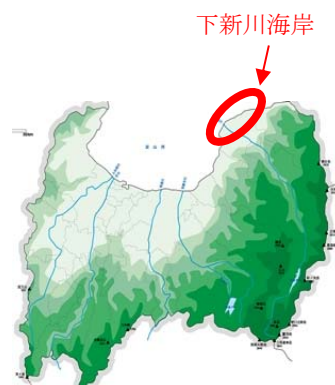
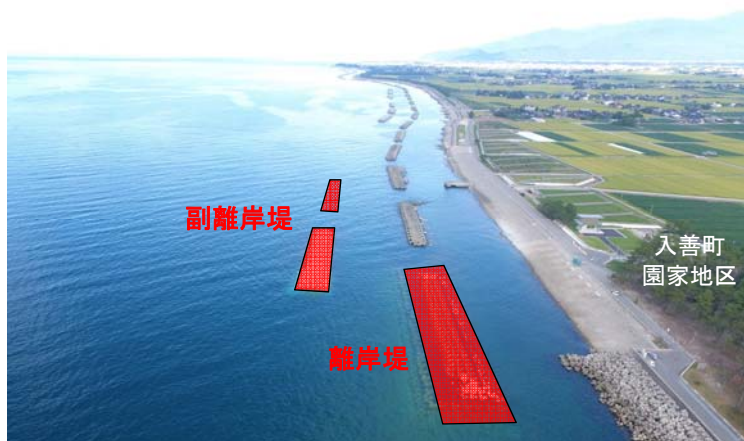
このため、離岸堤、副離岸堤等の海岸保全施設を整備することにより、背後の住宅等を越波、浸水から守ります。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

平成31年度の事業内容

そのけ
園家地区において、離岸堤、副離岸堤の整備を推進します。



緩傾斜堤の被災状況(園家地区)(平成20年2月)

国道 8 号 にゅうぜんくろべ 入善黒部バイパス事業の推進

とやま しもにいかわ にゅうぜんまち くろべ うおづ
富山県下新川郡入善町・黒部市・魚津市

H31事業費
1,350百万円

事業の概要

にゅうぜんくろべ とやま にゅうぜんまち うおづ
入善黒部バイパスは、富山県入善町から魚津市間の交通渋滞の緩和を目的とした、しもにいかわ にゅうぜん
まちくぬぎやま うおづ えぐち下新川郡入善町梶山から魚津市江口に至る延長約 16.1 km のバイパス整備事業です。

整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 幹線ネットワークの充実強化
- ・ 沿道環境の改善

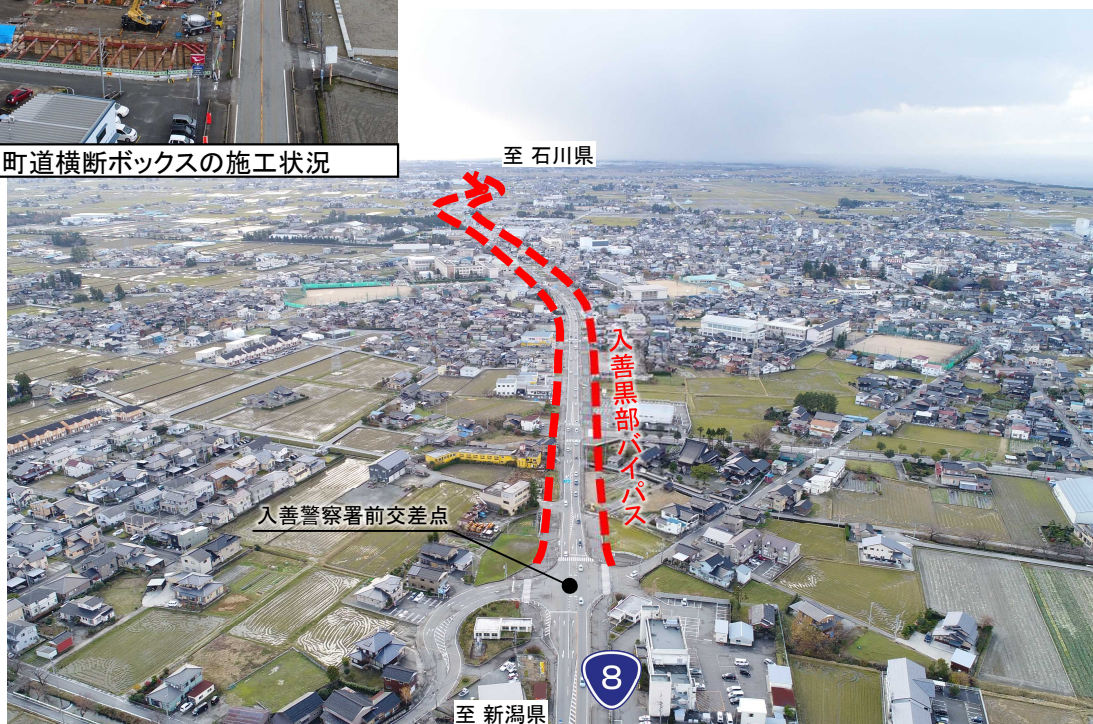
平成 31 年度の事業内容

現在、にゅうぜんまちくぬぎやま うわの入善町梶山から同町上野に至る現道拡幅区間において、用地買収、改良工事等を推進しています。

平成 31 年度は、引き続き用地買収、改良工事を推進し、早期開通に向けて事業を推進します。



▲ 町道横断ボックスの施工状況



国道 8 号 豊田新屋立体事業の推進

とやま とやま
富山県富山市

H31事業費 2,900百万円

事業の概要

豊田新屋立体は、地域高規格道路富山外郭環状道路の一部を構成し、富山市内の国道 8 号の交通渋滞の緩和、交通事故の削減、幹線道路ネットワークの強化を目的とした、富山市小西から同市粟島町に至る延長約 2.9 km の交差点立体化事業です。

整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 交通事故の削減
- ・ 幹線道路ネットワークの強化

平成 31 年度の事業内容

現在、立体化整備に向けて必要となる、用地買収、改良工事、及び富山跨線橋下部工事を推進しています。

平成 31 年度は、引き続き用地買収、改良工事、富山跨線橋下部工事を推進し、高架橋整備に向け必要となる『迂回道路（側道）』への交通切り替え』を早期に実施できるよう事業を推進します。



豊田新屋立体の整備の進め方

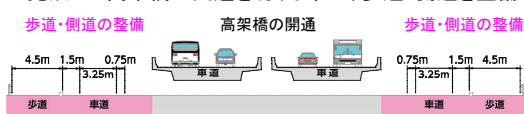
■現在:交通を切り回すための迂回道路(側道)を整備



■迂回道路(側道)へ交通を切りまわし高架橋を整備



■完成した高架橋へ交通を切りまわし、歩道・側道を整備



【凡例】 整備箇所 車両通行箇所



▲ 富山跨線橋下部工の施工状況



国道41号

いのたににれはら 猪谷楡原道路事業の推進 とやま とやま 富山県富山市

H31事業費 3,250百万円

事業の概要

猪谷楡原道路は、地域高規格道路富山高山連絡道路の一部を構成し、国道41号の事前通行規制区間（連絡雨量120mm）の解消、及び幅員狭小による除雪障害などの解消を目的とした、富山市猪谷から楡原に至る延長約7.4kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・災害に強い幹線道路ネットワークの形成
- ・事前通行規制区間の回避
- ・急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害の回避

平成31年度の事業内容

現在、大規模構造物である(仮称)猪谷橋（延長275m）において、2020年の工期末※を目指し上部工事を推進し、(仮称)片掛橋（延長359m）において、下部工事を推進しています(全5基のうち2基完成)。

平成31年度は、引き続き(仮称)猪谷橋の上部工事及び、(仮称)片掛橋の下部工事（残る3基のうち2基で工事）を推進するとともに、小糸地区の改良工事を推進し、早期開通にむけて事業を推進します。

※現地状況等により、工事竣工時期が変更となる場合があります。



ふしきとやま とやま
伏木富山港 富山地区
緊急物資輸送ターミナルに関する緊急対策
とやま とやま
富山県富山市 H31事業費 300百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、地震時の緊急物資輸送に十分対応できない恐れがある等の課題があるため、緊急対策として耐震強化岸壁の整備を実施します。

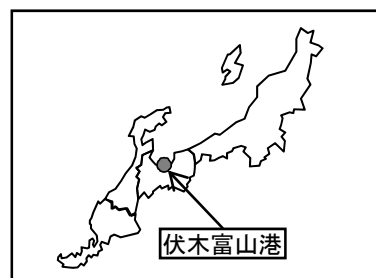
整備効果

耐震強化岸壁の整備により、大規模地震時に緊急支援物資の輸送が妨げられることを防止します。

平成31年度の事業内容

耐震強化岸壁の整備を推進します。

【位置図】



伏木富山港 富山地区



[地域高規格道路 ^{たかおか} 高岡環状道路]

(主) ^{たか} ^{おか} 高岡環状線事業の推進

^と ^{やま} ^{たか} ^{おか} 富山県高岡市

H31事業費 860百万円

事業の概要

主要地方道^{たかおか}高岡環状線は、高岡市内の環状道路である地域高規格道路「^{たかおか}高岡環状道路」の一部を形成するとともに、能越自動車道^{のうえつ}高岡ICへ連絡する重要な路線です。

能越自動車道^{のうえつ}高岡ICから北陸新幹線新高岡駅へのアクセス向上により広域交通の活性化に資するとともに、高岡市内の渋滞緩和による物流の効率化にも寄与することを目的とした、延長2.6kmの道路です。

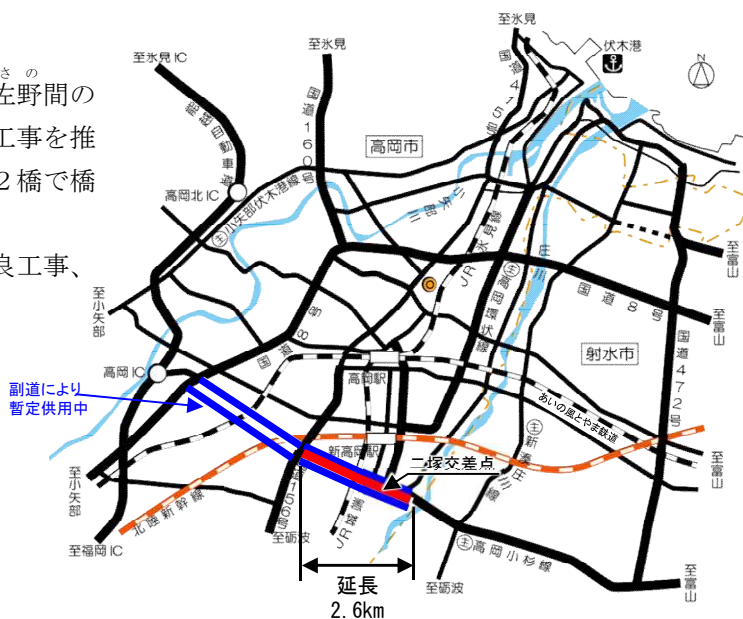
整備効果

- ・能越自動車道^{のうえつ}高岡ICから北陸新幹線新高岡駅へのアクセス向上
- ・高岡市街地への流入交通の分散により、市内の交通渋滞を緩和
- ・県西部地域^のや能登地域との物流・交流の促進による地域の活性化

平成31年度の事業内容

現在、高岡市上伏間江から同市佐野間の延長約2.6kmにおいて、改良工事を推進するとともに、全15橋のうち2橋で橋梁上下部工を推進しています。

平成31年度は、引き続き、改良工事、橋梁工事を推進します。



二塚交差点の渋滞状況

(市) 綾田北代線 八田橋架替事業の推進

富山県富山市

H31事業費 450百万円

事業の概要

1級市道綾田北代線は、富山駅北側を東西方向に結ぶ主要ルートとして多くの市民に利用されるときともに、第2次緊急輸送道路に指定される重要な道路です。

八田橋は、点検の結果、ゲルバー桁のヒンジ部のひび割れやコンクリート主桁の損傷が確認されるなど老朽化が進行していることから、新たに架け替えを行い、安心・安全な通行の確保を目的とした事業です。

整備効果

- ・安心・安全な通行の確保
- ・緊急輸送道路の安全性強化

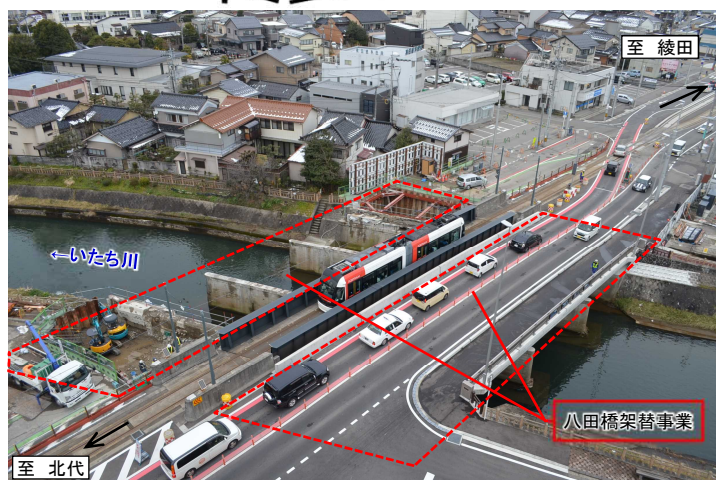
平成31年度の事業内容

平成30年3月に上流側の橋梁架替工事が完了し、現在、下流側の橋梁架替工事を推進しています。

平成31年度は、下流側橋梁上部工を推進します。



位置図



八田橋（下流側施工中）

[I Cアクセス]

(一) 上市水橋線事業

(町) 上市インター線事業の推進

富山県中新川郡上市町

H31事業費 140百万円

事業の概要

一般県道上市水橋線及び町道上市インター線の整備は、平成32年末に開通予定の上市スマート I C（仮称）の整備と合わせて、地域の経済活動支援や観光産業の活性化等を図ります。

整備効果

- ・企業誘致の促進、雇用の増大など地域産業の活性化
- ・より一層の安全、安心な救急救命体制の確保
- ・通勤圏、行動圏の拡大に加えて、近接する国道8号の混雑緩和への貢献

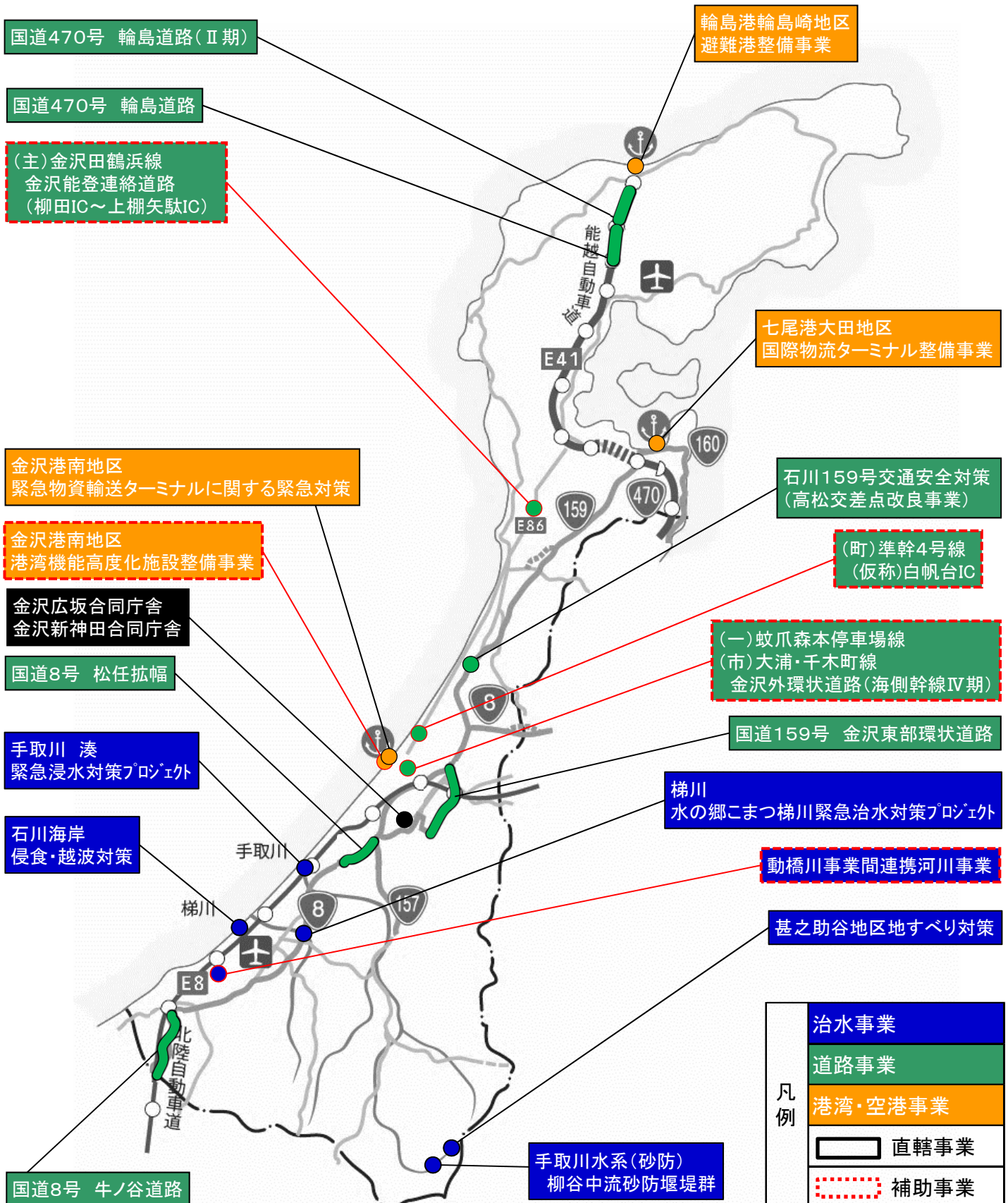
平成31年度の事業内容

現在、用地買収、改良工事を推進しています。

平成31年度は、道路設計、公共補償、改良工事を推進します。



石川県内の主要事業



国道8号 ^{まっとう}松任拡幅事業の新規事業化

^{いしかわ}石川県 ^{はくさん}白山市

H31事業費 50百万円

事業の概要

^{まっとう}松任拡幅は、^{いしかわ}石川県南部と^{かなざわ}金沢市を結ぶ国道8号を拡幅整備し、主要渋滞箇所が連続する渋滞区間の解消と安全性の向上などを目的とした、^{はくさん}白山市乾町から^{いぬいまち}同市宮丸に至る^{みやまる}延長約3.5kmの道路整備事業です。

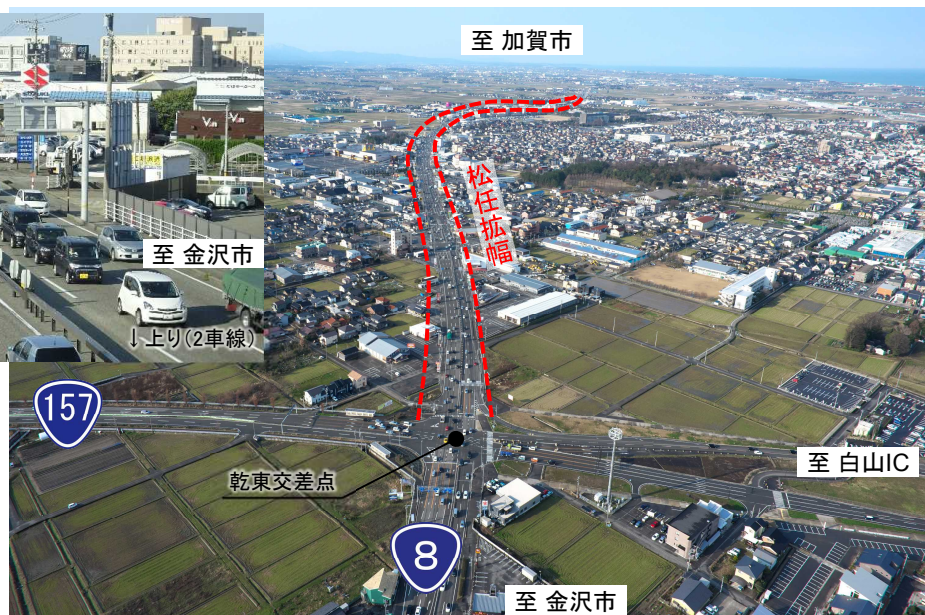
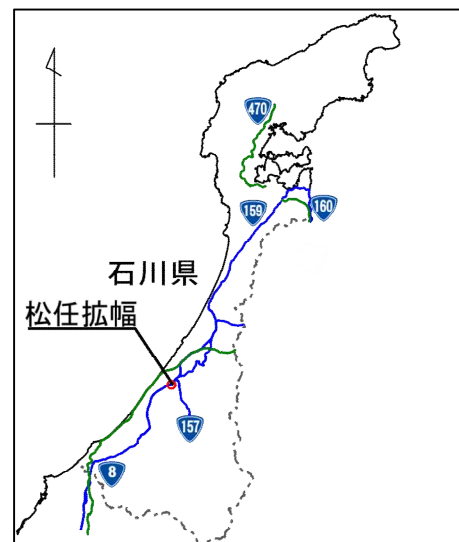
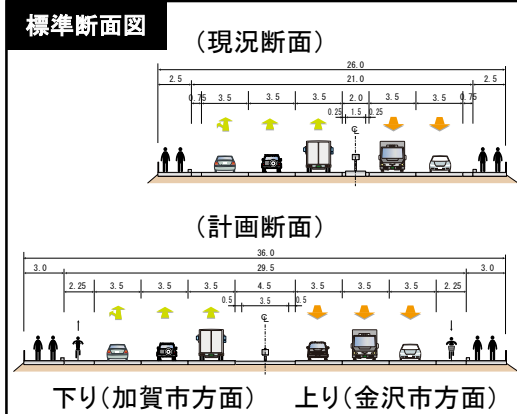
整備効果

- ・ 6車線化整備による渋滞区間の解消
- ・ 渋滞解消による国道8号の安全性向上及び迂回交通抑制による安全性向上
- ・ 物流効率化による地域産業の支援

平成31年度の事業内容

平成31年度より、測量、道路設計に着手します。

標準断面図



国道8号 ^{うしのや}牛ノ谷道路事業の新規事業化

^{いしかわ}石川県加賀市～^{ふくい}福井県あわら市

H31事業費
50百万円

事業の概要

^{うしのや}牛ノ谷道路は、国道8号^{いしかわ}石川・^{ふくい}福井県境部を4車線化整備し、雪に強い安定的な交通の確保を図るとともに、事前通行規制区間の解消により信頼性の高い幹線道路ネットワークの確保を目的とした^{いしかわ}石川県加賀市^{くまさかまち}熊坂町から^{ふくい}福井県あわら市^{うしのや}牛ノ谷に至る延長約4.6kmの道路整備事業です。

整備効果

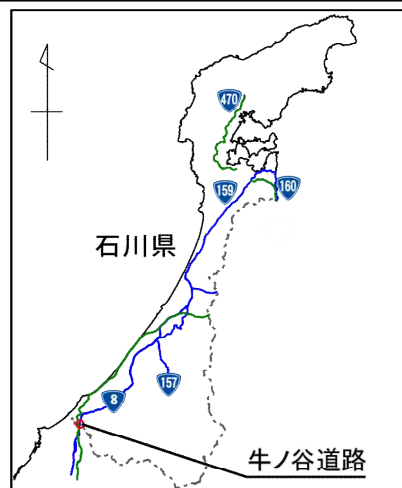
- ・ 4車線化による雪に強い安定的な交通の確保
- ・ 事前通行規制区間の解消による災害時の信頼性向上

平成31年度の事業内容

平成31年度より、調査設計に着手します。



▲ H30.2の集中降雪時の状況



かなざわひろさか かなざわしんかんだ

金沢広坂・金沢新神田合同庁舎

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

防災設備改修

H31事業費 146百万円

事業の概要

既存官庁施設において、最低限必要な施設の性能を確保するため、経年劣化が著しい設備について、緊急的な改修を実施します。

整備効果

行政サービスの円滑な提供に最低限必要な水準を確保します。

平成31年度の事業内容

かなざわひろさか かなざわしんかんだ
平成31年度は、金沢広坂合同庁舎・金沢新神田合同庁舎の防災設備改修を実施します。

「金沢広坂合同庁舎の概要」

入居官署：金沢国税局
北陸総合通信局
北陸農政局
所在地：石川県金沢市広坂2-2-60
築年：1965年
構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上8階地下1階建て
延床面積：18,378㎡



【金沢広坂合同庁舎外観写真】

「金沢新神田合同庁舎の概要」

入居官署：北陸財務局
金沢地方方法務局
金沢国税不服審判所
金沢労働基準監督署
北陸農政局土地改良技術事務所
自衛隊石川地方協力本部
所在地：石川県金沢市新神田4-3-10
築年：1979年
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
階数：地上8階地下1階建て
延床面積：15,115㎡



【金沢新神田合同庁舎外観写真】

位置図

金沢市



【位置図】

いぶりはしがわ

動橋川事業間連携河川事業の着手

いしかわ かがし
石川県加賀市

H31事業費
270百万円

・事業の概要

しんほりかわ いぶりはしがわ

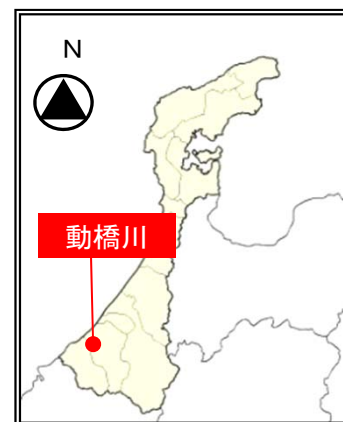
新堀川水系動橋川は、加賀市内の住宅密集地を流下しており、平成10年豪雨による洪水等で甚大な被害が発生しました。このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、治水安全度の向上を図るため、河道掘削等に着手し、平成32年度完了を目指します。

整備効果

下流域では河道掘削、橋梁架替を実施、上流域では砂防堰堤を整備することにより、早期の治水効果の発現を図ります。

平成31年度の事業内容

加賀市、動橋地区において、上流の砂防事業と連携し、流下能力の向上を図るため、掘削工、旧橋撤去工を実施します。



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

[I Cアクセス]

(町) 準幹 4 号線 (仮称) 白帆台 I C 事業の新規事業化

石川県河北郡内灘町

H31事業費 180百万円

事業の概要

(町) 準幹4号線は、地域高規格道路 金沢能登連絡道路の(仮称)白帆台 I Cへ接続する道路です。
内灘町北部地区から金沢方面へのアクセス性の向上を図ることにより、北部地域の定住促進や災害時の避難経路拡大、既存施設の利用促進のほか、内灘町内の幹線道路における渋滞緩和、交通事故削減等を目的としたアクセス道路整備です。

整備効果

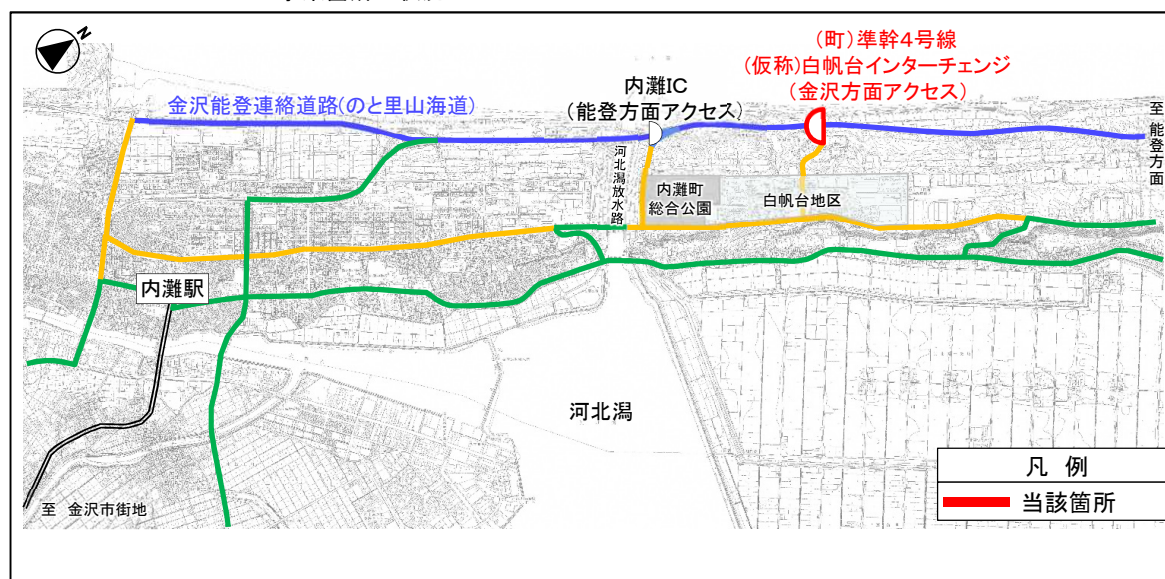
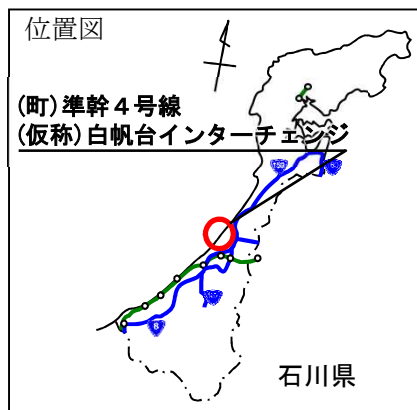
- ・内灘町北部地区から金沢方面へのアクセス性の向上
- ・内灘町北部地区の定住促進、災害時の避難経路拡大、既存施設の利用促進
- ・内灘町内の幹線道路における交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減

平成 3 1 年度の事業内容

平成 3 1 年度は、改良工事を推進します。



事業箇所の状況



てどりがわ
手取川

みなと

湊緊急浸水対策プロジェクト の推進

いしかわ はくさん
石川県白山市

H31事業費
639百万円※1

※1: 手取川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

手取川下流部は、洪水を安全に流下させるために十分な河道断面となっておらず、洪水氾濫により甚大な被害が発生する恐れがあることから、流下能力を確保するため引き続き河道掘削が必要となっています。

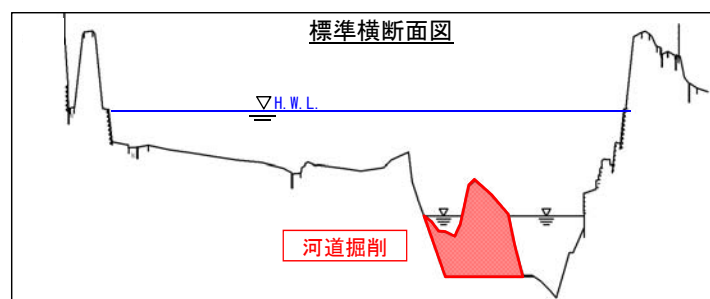
このため、「防災・減災、国土強靱のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進し、平成32年度完了を目指します。

整備効果

河道掘削の推進により、手取川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

湊地区の河道掘削を推進します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

かけはしがわ
梯川

水の郷こまつ かけはしがわ
水の郷こまつ**梯川緊急治水対策プロジェクト**の推進

いしかわ こまつ
石川県小松市

H31事業費
2,794百万円※1

※1: 梯川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

かけはしがわ
梯川では近年出水が頻発し、特に平成29年に氾濫危険水位を2回超過、平成30年も避難判断水位を超過し、避難勧告が発令されるなど水害のリスクが高い河川であります。近年の出水状況を踏まえ、平成30年度より洪水時の水位上昇が特に著しいしらえ大橋（河口より6km）からあらきだ大橋（河口より9km）までの一連区間について「水の郷こまつ かけはしがわ 梯川緊急治水対策プロジェクト」として重点的に河川改修を進めています。

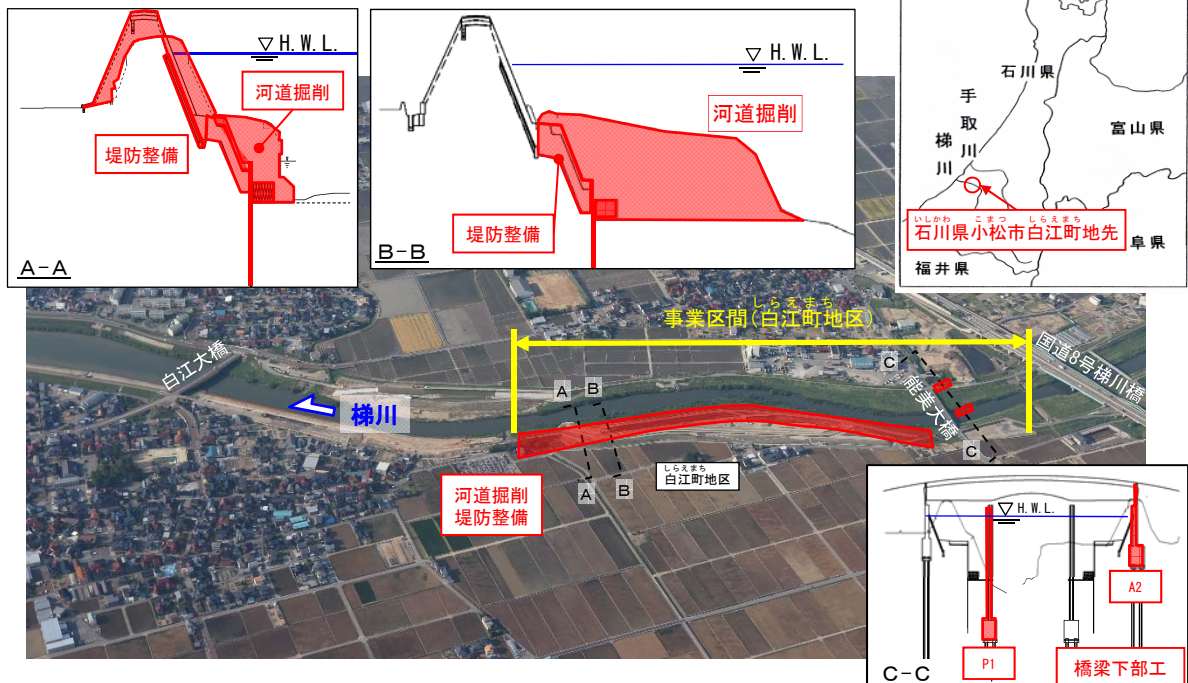
このため、「防災・減災、国土強靱のための3か年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、河道掘削を推進します。また、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」（※3）の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、引き続き堤防整備等を実施します。

整備効果

堤防整備、河道掘削及び能美大橋の架替えの推進により、かけはしがわ 梯川の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

しらえまち
白江町地区の堤防整備、河道掘削及び能美大橋の架替え（橋梁下部工）を推進します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

※3: 「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

てどりがわ やなぎだに ちゅうりゅう
手取川水系直轄砂防事業（柳谷中流砂防堰堤群）の推進
 いしかわ はくさん
石川県白山市 H31事業費
 184百万円

事業の概要

手取川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

白峰地区において、柳谷中流砂防堰堤群の整備を推進します。



牛首川上流部の荒廃

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

甚之助谷地区直轄地すべり対策事業の推進

いしかわ はくさん
石川県白山市

H31事業費
621百万円

事業の概要

甚之助谷地すべりは、手取川の源流で大規模な地すべりで、現在も年間10cmを超える移動を観測しています。昭和9年7月11日の手取川大水害時には別当谷で地すべり性の崩壊に伴い天然ダムが形成され、その決壊により下流の白峰村(現在、白山市白峰)などに死者・行方不明者112名という未曾有の被害をもたらしています。

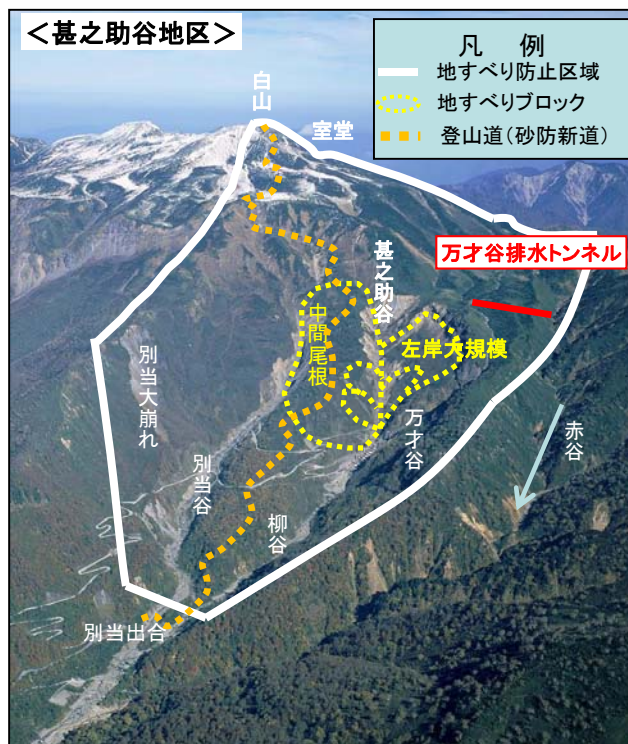
土砂災害の防止を目的として、甚之助谷地すべりの移動を抑制するために集水ボーリング、集水井、排水トンネルなどの地すべり対策を実施します。

整備効果

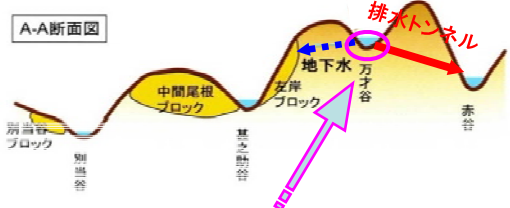
大規模な地すべりに起因する大量の土砂流出を抑制し、手取川流域を土砂災害から保全するとともに、年間5万人の登山客が訪れる白山へのアクセス道の保全を図ります。

平成31年度の事業内容

白峰地区において、地すべりの原因となる地下水を排除するため、万才谷排水トンネルの整備を推進します。



昭和9年
手取川大水災害
時の白峰村風嵐
の様子



万才谷河床にある亀裂から、流水が地下へ浸透し、左岸地すべりブロックの不安定化の要因となっています。

いしかわ 石川海岸 侵食・越波対策の整備の推進（小松工区）

いしかわ こまつ
石川県小松市

こまつ
H31事業費
932百万円※

※石川海岸直轄海岸保全施設整備事業のH31全体事業費

事業の概要

いしかわ こまつ
石川海岸小松工区は侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展が著しく、高波による越波被害が発生すれば地域経済や雇用に大きな影響を与える恐れがあります。

このため、平成16年度から直轄海岸保全施設整備事業に着手し、抜本的な保全対策を推進しています。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

平成31年度の事業内容

こまつ
小松工区において、人工リーフ等の整備を推進します。



冬季風浪状況(小松工区:平成27年12月)



施設被災状況(小松市安宅地先:平成24年12月)

国道159号

かなざわ

金沢東部環状道路事業の推進

いしかわ

かなざわ
石川県金沢市

H31事業費 1,950百万円

事業の概要

かなざわ
金沢東部環状道路は、地域高規格道路金沢外環状道路の一部を構成し、金沢中心部における交通渋滞の緩和を図るとともに、ほくりく
かなざわ
北陸自動車道や、のと里山海道とあわせた広域的な道路ネットワークの形成を目的とした、かなざわ いままち
すずみだい
金沢市今町から同市鈴見台に至る延長約9.4kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・金沢中心部の交通渋滞の緩和
- ・広域的な道路ネットワークの形成

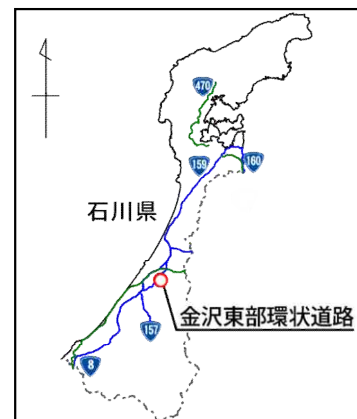
平成31年度の事業内容

かなざわ
金沢東部環状道路の神谷内IC～かなざわもりもと
つきうら
（仮称）月浦トンネルにおいて2021年の工期末※を目指し工事を推進しています。

（H31年3月末時点で約2割（約170m/1,020m）掘削）

つきうら
平成31年度は、引き続き（仮称）月浦トンネル工事、及び改良工事を推進し、早期4車線化に向けて事業を推進します。

※地質の状況や掘削の進捗状況により工事竣工時期が変更となる場合があります。



▲（仮称）月浦トンネル施工状況



国道470号 輪島道路(Ⅱ期)事業の推進

石川県輪島市

H31事業費 3,320百万円

事業の概要

輪島道路(Ⅱ期)は、高規格幹線道路能越自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次救急医療機関へのアクセス性の向上を目的とした、輪島市杉平町から同市三井町本江に至る延長約6.8kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・高規格幹線道路網の形成
- ・災害に強い道路ネットワークの形成
- ・第3次救急医療機関へのアクセス性向上
- ・アクセス時間の短縮による地域の発展・観光の活性化

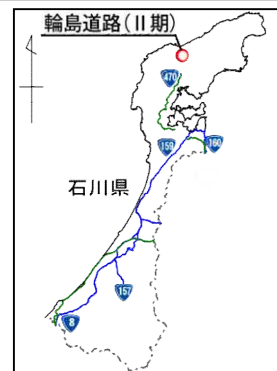
平成31年度の事業内容

現在、全線で用地買収、改良工事を推進するとともに、(仮称)鷹ノ巣山第2トンネルの掘削に向けた準備を行っています。

平成31年度は、引き続き用地買収、改良工事を推進するとともに、(仮称)鷹ノ巣山第2トンネルにおいては、2021年の工期末※を目指し掘削に着手する予定です。

全線開通に向けて必要となる、残る1箇所のトンネル工事は、(仮称)鷹ノ巣山第2トンネル完成後に着手することを計画しています。

※地質の状況や掘削の進捗状況により工事竣工時期が変更となる場合があります。



国道470号 輪島道路事業の推進

石川県輪島市

H31事業費 1,500百万円

事業の概要

輪島道路は、高規格幹線道路能越自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次医療施設へのアクセス性の向上を目的とした、輪島市三井町本江から洲衛に至る延長約4.7kmの道路整備事業です。

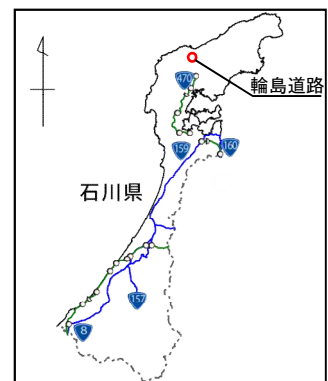
整備効果

- ・高規格幹線道路網の形成、災害に強いネットワークの形成
- ・第三次医療施設へのアクセス向上
- ・アクセス時間の短縮による地域の発展・観光の活性化

平成31年度の事業内容

現在、全線で改良工事を推進するとともに、橋梁においては、全3橋のうち、(仮称)小泉高架橋、(仮称)のと里山空港IC橋の2橋で橋梁上部工事を推進し、(仮称)洲衛高架橋では下部工事を推進中です。

平成31年度は、引き続き改良工事などを推進するとともに、(仮称)洲衛高架橋の上部工事に着手し、2022(H34)年夏迄の開通に向けて事業を推進します。



いしかわ
石川県かほく市

事業の概要

本事業は、歩道の整備を行い、通学生徒等の安全・安心な歩行空間を確保するものです。

整備効果

- ## 平成31年度の事業内容

至 津幡町

至 宝達志水町



かなざわ みなみ
金沢港 南地区
緊急物資輸送ターミナルに関する緊急対策
いしかわ かなざわ
石川県金沢市 H31事業費 1,083百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、地震時の緊急物資輸送に十分対応できない恐れがある等の課題があるため、緊急対策として耐震強化岸壁の整備を実施します。

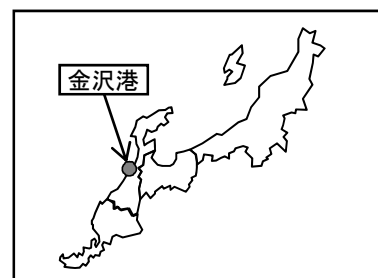
整備効果

耐震強化岸壁の整備により、大規模地震時に緊急支援物資の輸送が妨げられることを防止します。

平成31年度の事業内容

耐震強化岸壁の整備を推進します。

【位置図】



七尾港 大田地区
国際物流ターミナル整備事業の推進

石川県七尾市

H31事業費 166百万円

事業の概要

七尾港は背後に地域の主要産業である木材加工産業が集積しており、原材料である原木の供給拠点となっています。木材運搬船の大型化への対応のため、大田地区の物流ターミナルの整備を推進します。

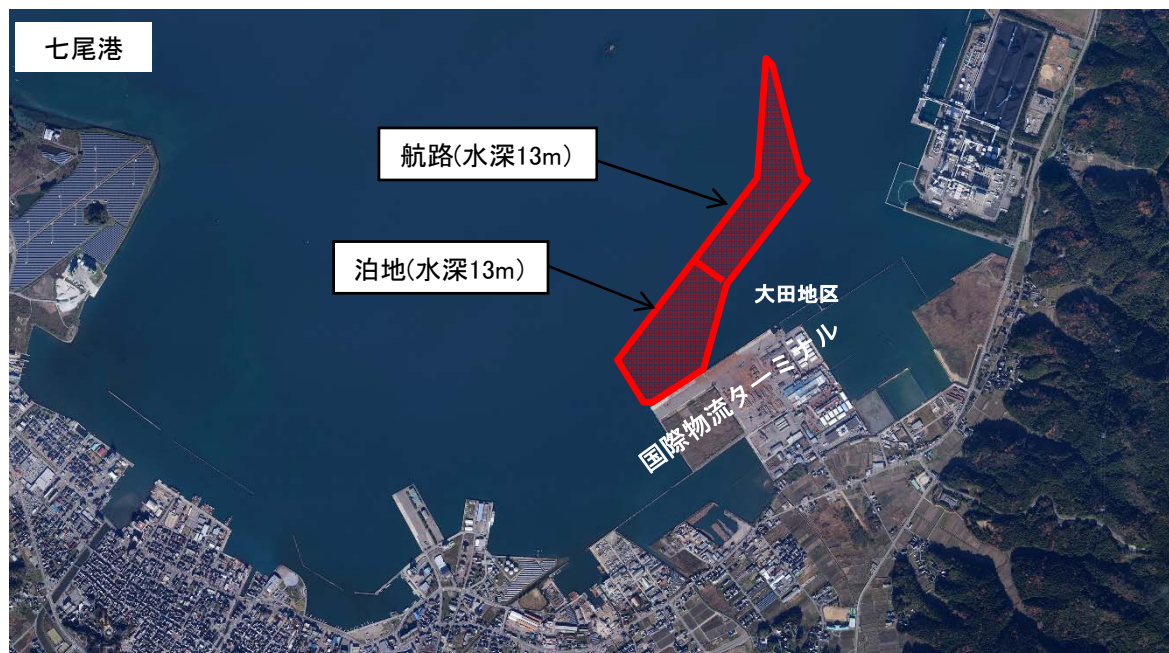
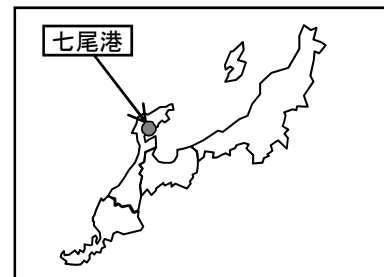
整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

平成31年度の事業内容

航路、泊地の整備を推進します。

【位置図】



わじま わじまざき
輪島港 輪島崎地区
避難港整備事業の実施
いしかわ わじま
石川県輪島市

H31事業費 129百万円

事業の概要

のと はんとう
能登半島沖を航行する船舶の荒天による海難被害を防止するため、防波堤の整備を推進しています。

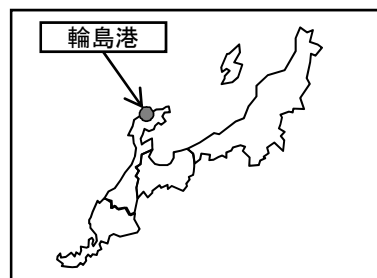
整備効果

防波堤を整備することにより港内の静穏度が向上し、荒天時には船舶が安全に避泊できるようになります。

平成31年度の事業内容

防波堤の整備を推進します。

【位置図】



[地域高規格道路 金沢外環状道路]

(一) かがつめ もり もと てい しゃじょう 蚊爪森本停車場線事業

(市) ^{おお}大浦・^せ千木^ぎ町^{まち}線事業 の推進

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

H31事業費 2,740百万円

事業の概要

金沢外環状道路海側幹線は、山側幹線と一体となって、金沢都市圏の外郭を形成し、交通の円滑化を図る極めて重要な幹線道路です。

一般県道蚊爪森本停車場線及び市道大浦・千木町線（金沢外環状道路海側幹線Ⅳ期）は、海側幹線の一部を構成し、金沢都市圏の渋滞緩和及び物流拠点間のアクセス向上、広域交流の促進等に寄与する道路であり、金沢市大河端町～千木町間 2.5 km で事業を推進しています。

整備効果

- ・金沢都市圏の交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減
- ・重点港湾金沢港へのアクセス向上

平成31年度の事業内容

現在、金沢市大河端町から千木町間の延長約2.5kmにおいて、付替市道の1橋が完成し、本線の12橋で橋梁上下部工を推進するとともに、全線で改良工事を推進しています。

平成31年度は、引き続き、橋梁工事及び改良工事を推進します。



位置図



浅野川付近の施工状況

[地域高規格道路 金沢能登連絡道路]

(主)金沢田鶴浜線事業(柳田IC～上棚矢駄IC)の推進

石川県羽咋市～羽咋郡志賀町 H31事業費 1,300百万円

事業の概要

主要地方道金沢田鶴浜線の柳田IC～上棚矢駄IC間は、地域高規格道路「金沢能登連絡道路」の一部を構成する区間であり、現道の交通混雑の緩和や広域交流の促進を目的として、羽咋市柳田町から羽咋郡志賀町上棚に至る延長約9.6kmの4車線化整備を行う事業です。

整備効果

- ・交通混雑の緩和
- ・交通事故の減少
- ・広域交流の促進

平成31年度の事業内容

現在、柳田ICから上棚矢駄IC間の延長約9.6kmにおいて、改良工事を推進するとともに、全10橋のうち1橋で橋梁下部工を推進しています。

平成31年度は、引き続き、改良工事及び橋梁工事を推進します。



施工状況

かなざわ みなみ
金沢港 南地区
港湾機能高度化施設整備事業の促進
いしかわ かなざわ
石川県金沢市

H31事業費 273百万円

事業の概要

かなざわ
金沢港南地区において、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上等を図るための観光交流基盤施設等の整備を促進します。

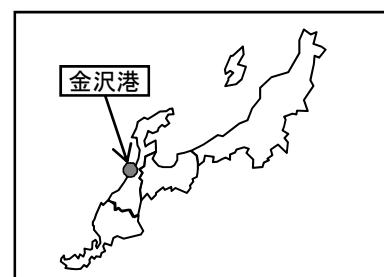
整備効果

旅客上屋改修等と合わせて観光交流支援基盤施設等を整備することで、旅客の利便性、安全性等を確保します。

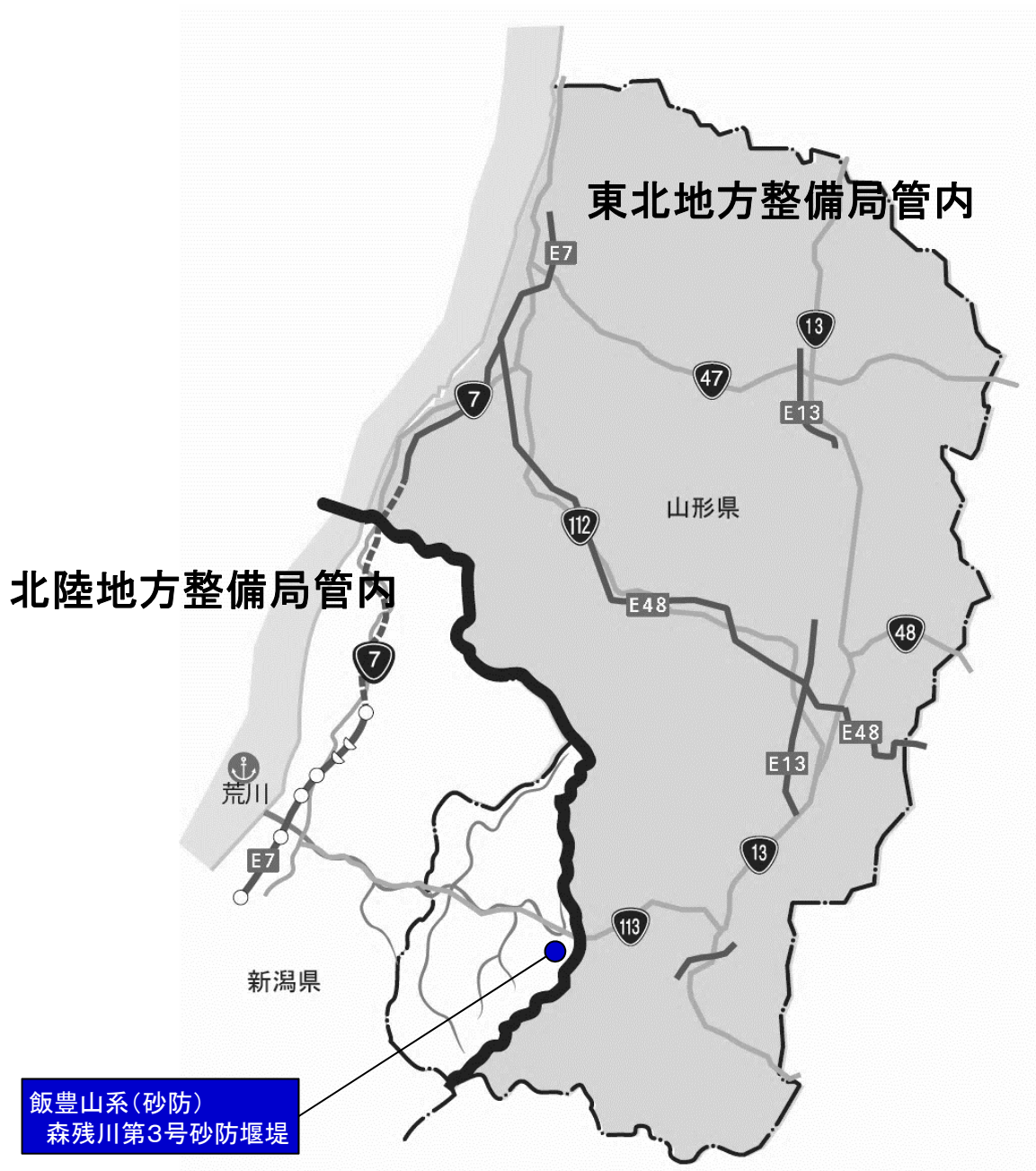
平成31年度の事業内容

観光交流支援基盤施設等の整備を促進します。

【位置図】



山形県内の主要事業



凡例 治水事業

飯豊山系直轄砂防事業（森残川第3号砂防堰堤）の完成

もりのこしがわ
やまがた にしおきたま おぐにまち
山形県西置賜郡小国町

H31事業費
212百万円

事業の概要

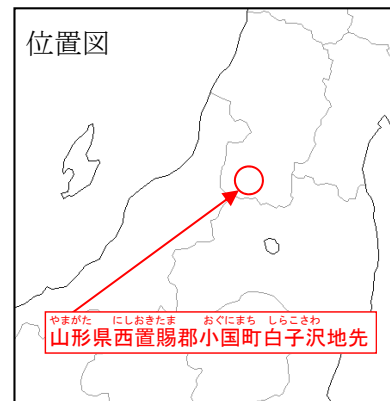
飯豊山系（荒川流域）は地質が脆弱で多くの崩壊地が存在する土砂流出の著しい河川です。本河川の上流域及び溪床には不安定土砂や倒木が大量に存在するため、集中豪雨等によって保全対象に被害が及ぶ恐れがあるため、砂防堰堤の整備を行います。

整備効果

砂防堰堤の完成により、下流への土砂流出を防ぎ、流域の土砂災害に対する安全度向上を図るとともに、直下流の小国町白子沢地区や国道113号、JR米坂線を土砂災害から守ります。

平成31年度の事業内容

白子沢地区において、森残川第3号砂防堰堤を完成します。

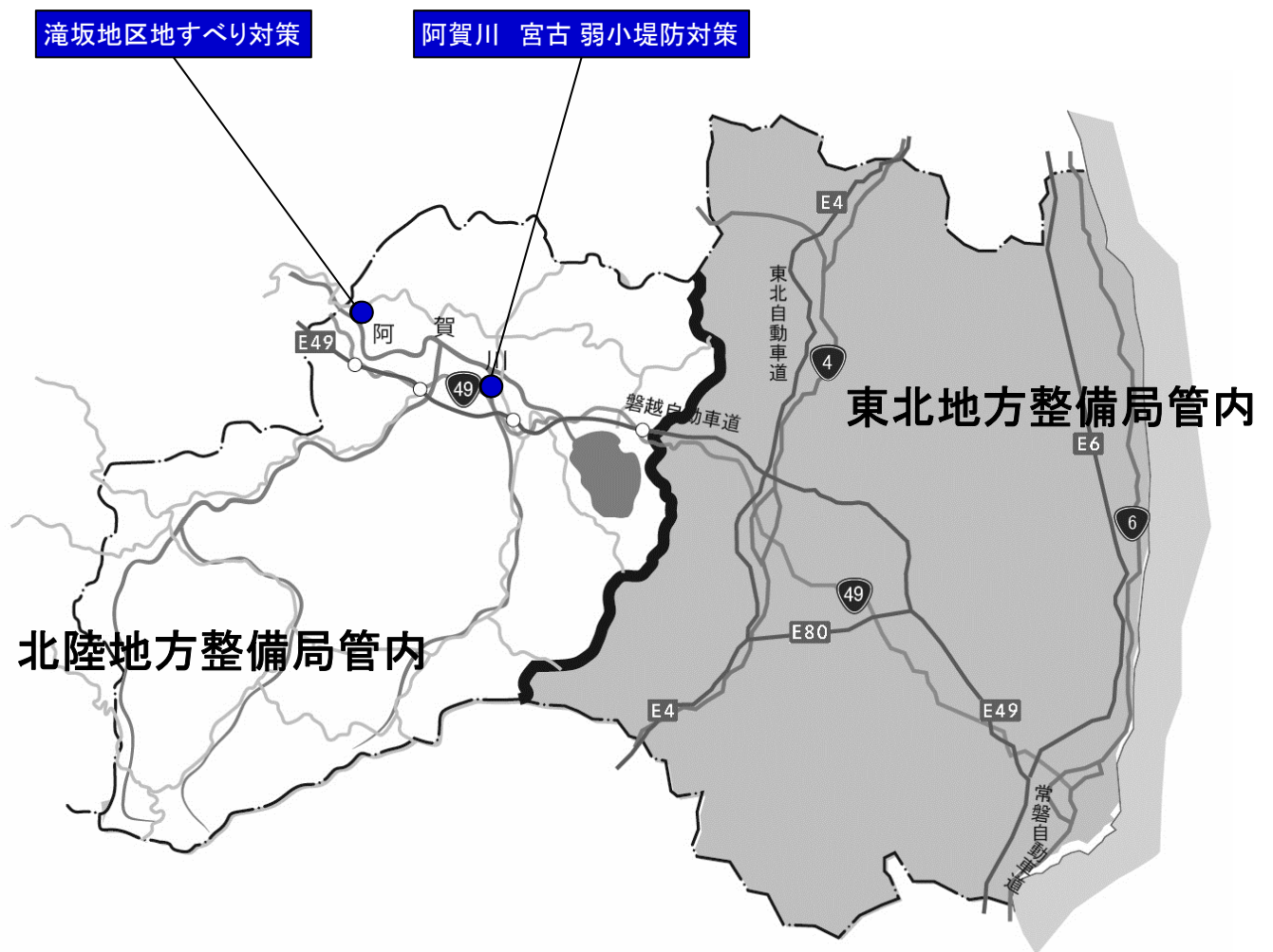


大規模崩壊斜面状況



施工箇所

福島県内の主要事業



凡例 治水事業

阿賀川 宮古 弱小堤防対策 の推進

ふくしま かわぬま あいづばんげまち
福島県河沼郡会津坂下町

H31事業費
857百万円※1

※1: 阿賀川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

阿賀川左岸の会津坂下町宮古地区では堤防の断面が不足しており、洪水時の水位低減、高水の安全な流下を図るため弱小堤防対策（堤防整備）及び河道掘削が必要となっています。

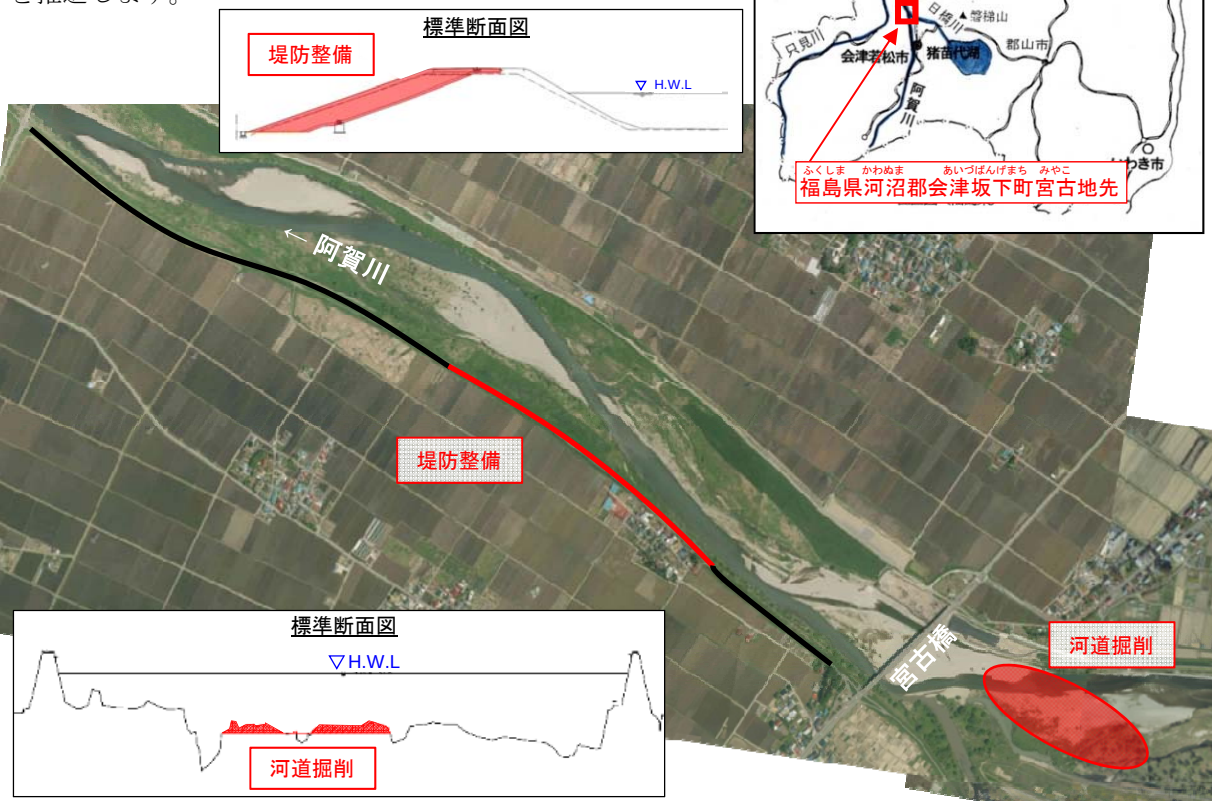
このため、「防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、河道掘削を実施します。また、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」（※3）の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、引き続き堤防整備（弱小堤防対策）を推進します。

整備効果

河道掘削の実施及び堤防整備（弱小堤防対策）の推進により、阿賀川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

宮古地区の河道掘削の実施及び堤防整備（弱小堤防対策）を推進します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

※3: 「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

たきさか
滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進
ふくしま やま にしあいづまち
福島県耶麻郡西会津町

H31事業費
693百万円

事業の概要

滝坂地すべりは、150haの面積を有する国内最大級の地すべりであり、地すべり活動が活発化すれば、阿賀川の河道閉塞により上下流の広範囲において甚大な被害が想定されます。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国のインフラ・ライフラインの土砂災害に関する緊急点検」の一環として、重点的に地すべり対策を実施します。

整備効果

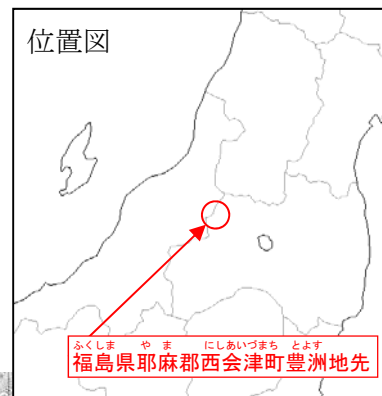
地すべり対策事業の推進により、インフラ・ライフラインに対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

豊洲地区において、排水トンネル工、集水井等による地すべり対策を推進します。



大石西山地区 排水トンネル



位置図

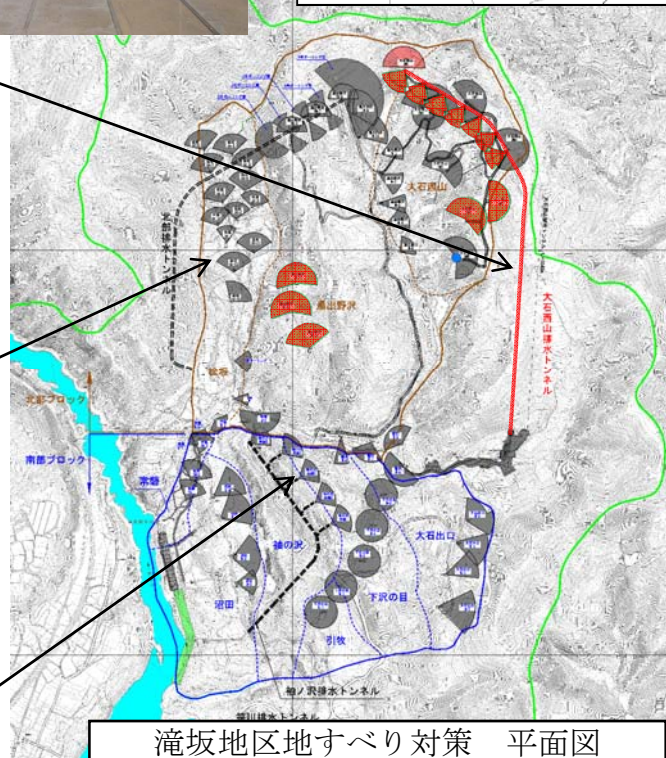
ふくしま やま にしあいづまち とよす
福島県耶麻郡西会津町豊洲地先



松坂地区 集水井



袖の沢地区 集水ボーリング

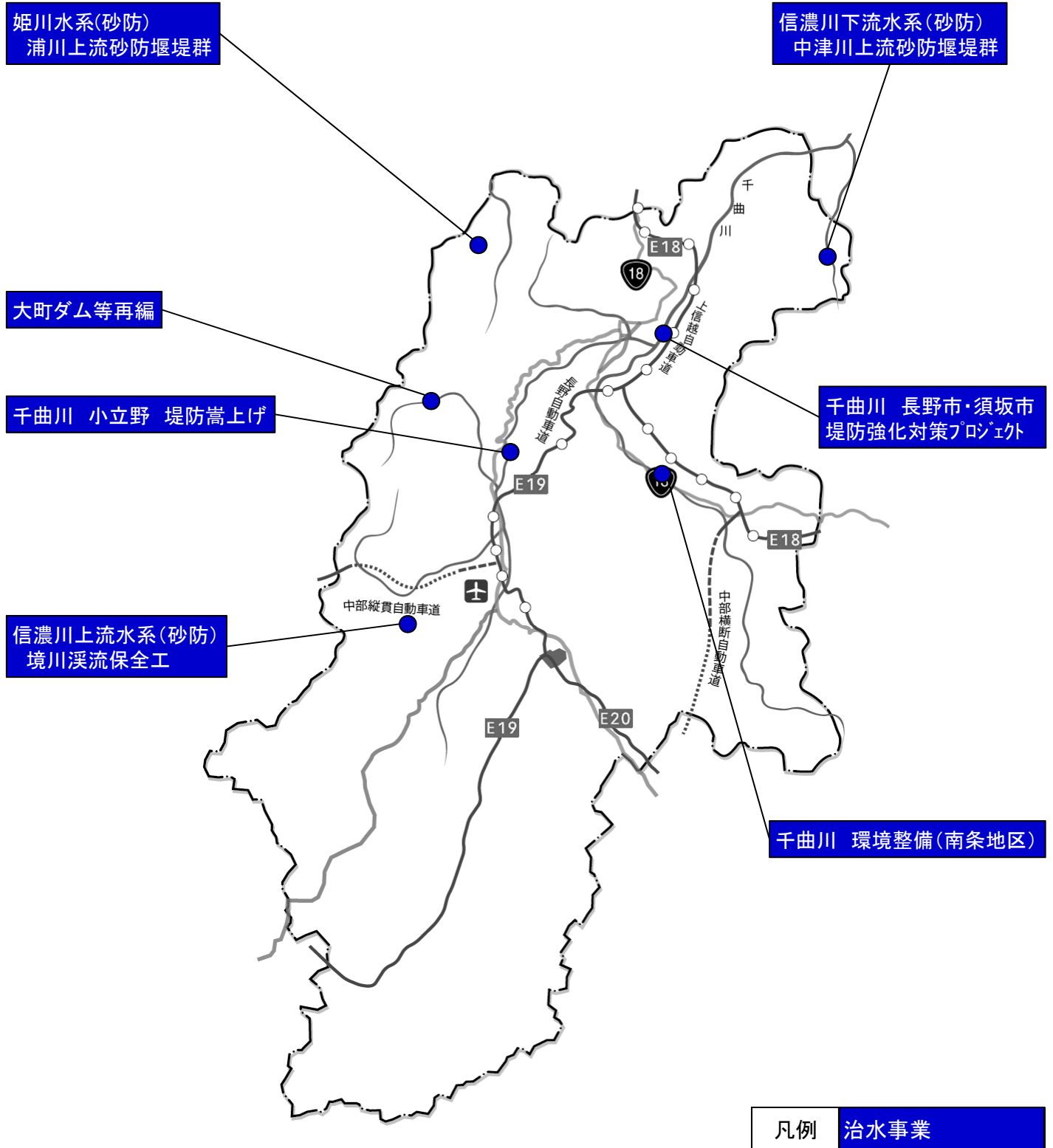


滝坂地区地すべり対策 平面図

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

長野県内の主要事業



ちくまがわ おだつの
千曲川 小立野 堤防嵩上げ の完成
ながの ひがしちくま いくさか
長野県東筑摩郡生坂村

H31事業費
2,762百万円※1

※1:千曲川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

ちくまがわ さいがわ いくさか おだつの
千曲川支川犀川の生坂村小立野地区の右岸堤防は、堤防高及び断面ともに不足する暫定堤防となっており、平成18年7月出水では氾濫被害を回避するための水防活動が行われるなど、堤防嵩上げ（堤防整備）が急務となっています。

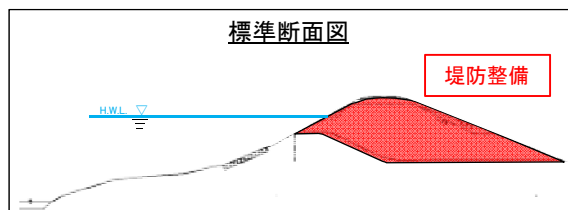
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」（※2）の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、堤防整備（堤防嵩上げ）を完成します。

整備効果

さいがわ
堤防整備（堤防嵩上げ）の完成により、犀川の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

おだつの
小立野地区の堤防整備（堤防嵩上げ）を完成します。



※2:「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

ちくまがわ
千曲川

ながの すざか
長野市・須坂市堤防強化対策プロジェクト
ながの ながの すざか
長野県長野市、須坂市

の推進

H31事業費
2,762百万円※1

※千曲川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

千曲川左岸の長野市屋島地区及び右岸の須坂市福島地区の堤防は、高さや断面が不足しているとともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

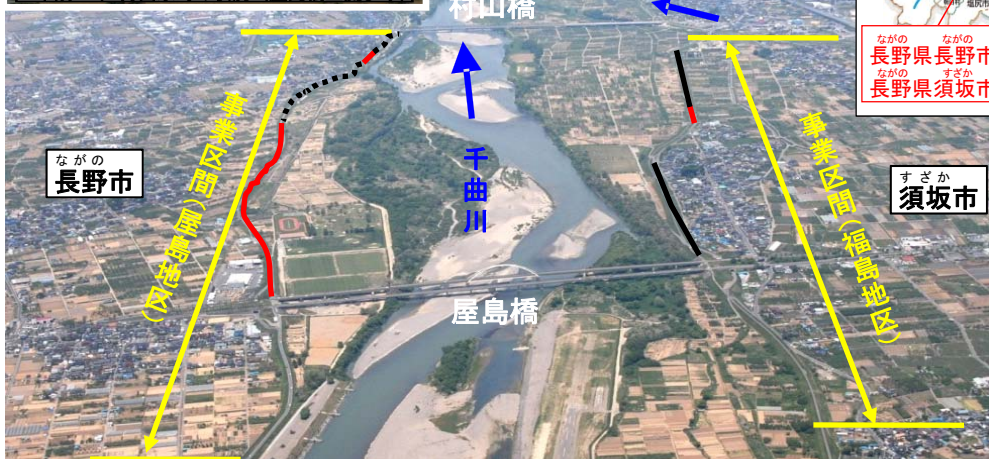
このため、「防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策」の一環として、引き続き屋島地区の堤防整備を推進します。また、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」（※3）の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、引き続き福島地区の堤防整備を推進します。

整備効果

堤防整備の推進により、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

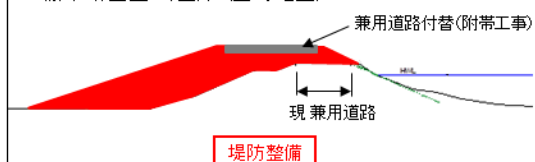
屋島地区及び福島地区の堤防整備を推進します。



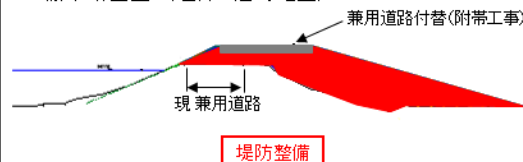
位置図



標準断面図（左岸 屋島地区）



標準断面図（右岸 福島地区）



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

※3:「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

ちくまがわ
千曲川 環境整備 自然再生の推進
ながの はにしな さかきまち みなみじょう
長野県埴科郡坂城町(南条地区)

H31事業費
146百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のH31全体事業費

事業の概要

千曲川では、かつて広大な礫河原を有していましたが、河床低下によって、高水敷と低水路の高低差が拡大し、礫河原及び湿性植物群落が減少しています。さらに、アレチウリ・ハリエンジュ等の外来種が侵入・拡大し、もともと千曲川に生息する在来種の生息環境が悪化・減少しています。

本事業は、河道掘削を行うことにより、礫河原及び湿性植物群落を再生し、景観の観点からも千曲川の魅力の向上を図ります。

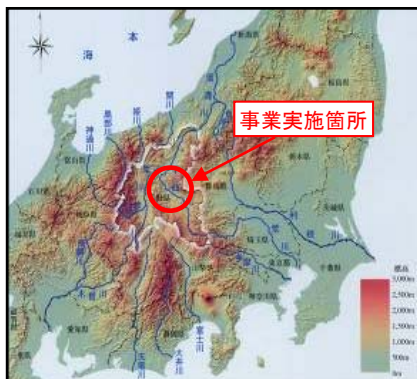
整備効果

礫河原及び湿性植物群落の再生を進めることで、河川特有の多様な生息地が形成されるほか、アレチウリ等の外来種の繁茂が抑制され、千曲川本来の自然環境の再生を図ります。

平成31年度の事業内容

南条地区において、礫河原の再生(河道掘削)を推進します。

・位置図



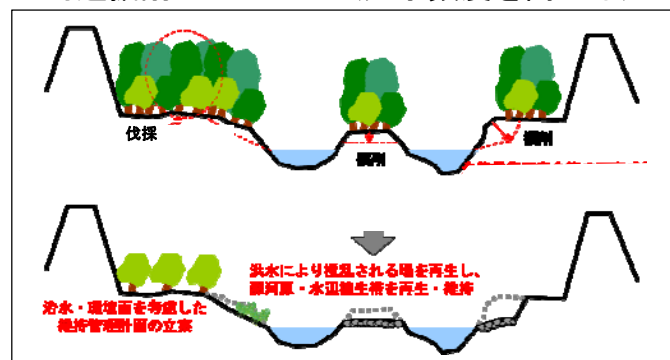
・平面図



・整備済み箇所



・河道掘削のイメージ(冠水頻度を高める)



おおまち
大町ダム等再編事業
ながの おおまち
長野県大町市

H31事業費 198百万円

事業の概要

本事業は、平成16年、18年と大規模な洪水により浸水被害が発生している千曲川の治水対策のため、高瀬川の既設ダムの容量を活用し、洪水調節機能を強化するもので、平成27年度から実施計画調査を進めています。

具体的には、既設の高瀬ダム・七倉ダム（発電専用ダム）の発電容量の一部と、大町ダム（多目的ダム）の水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保することにより、下流の洪水流量をさらに減少させるものです。

また、高瀬ダム・七倉ダムへの洪水調節機能の追加にあわせて、長期に安定的にダムの機能が確保されるよう、流入土砂対策を行うことも検討しています。

○目的 ・洪水調節（犀川、千曲川、信濃川の洪水防御）

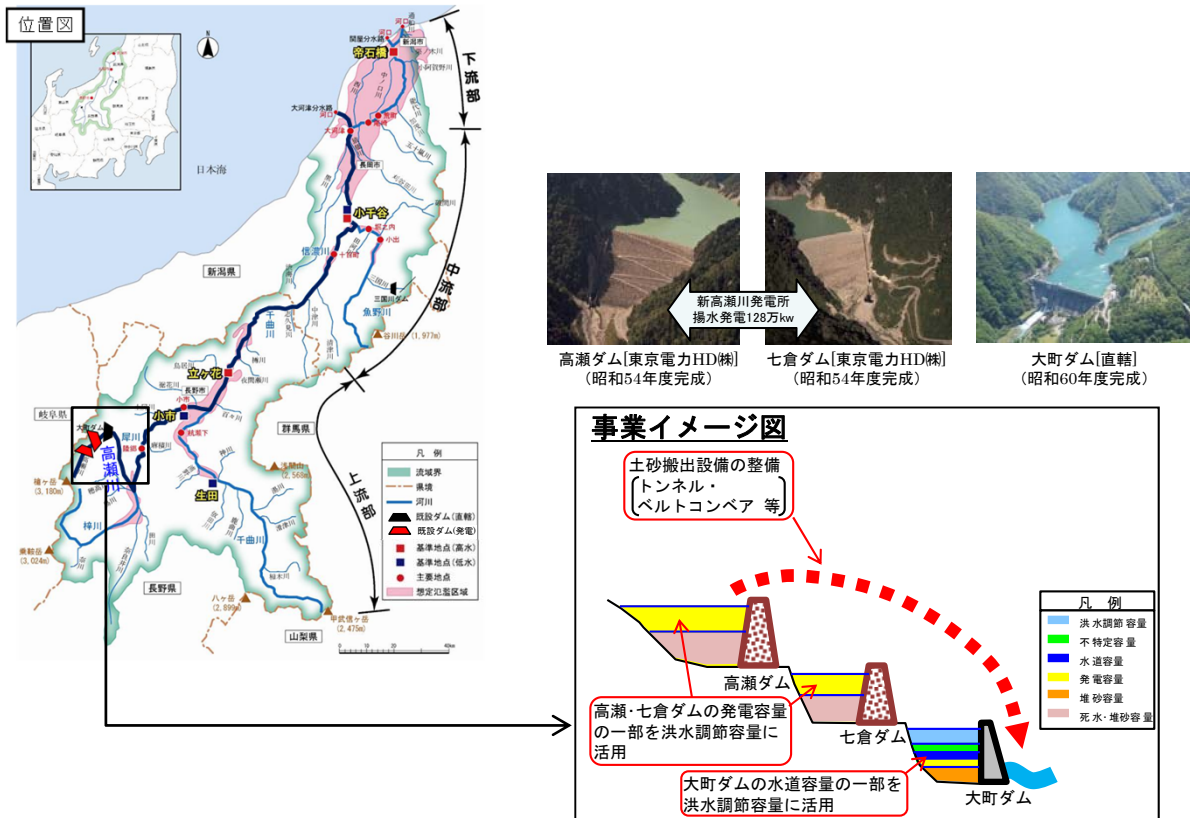
○概要 ・既設ダムを活かした洪水調節機能の確保

（既設ダムの容量振り替え、土砂搬出施設の整備）

○経緯 平成27年度 実施計画調査着手

平成31年度の事業内容

施設検討、環境調査 等を実施する予定です。



しなのがわ

信濃川上流直轄砂防事業（境川溪流保全工）の推進

さかいがわ
ながの まつもと
長野県松本市

H31事業費
110百万円

事業の概要

信濃川上流水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、平成32年度完成を目指します。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

ながの まつもと さかいがわ
奈川寄合渡地区において、境川溪流保全工の整備を進めます。

位置図



昭和58年9月28日、台風10号による集中豪雨

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

信濃川下流水系直轄砂防事業（中津川上流砂防堰堤群） の推進

ながの しもみのち さかえ
長野県下水内郡栄村

H31事業費
396百万円

事業の概要

信濃川下流水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

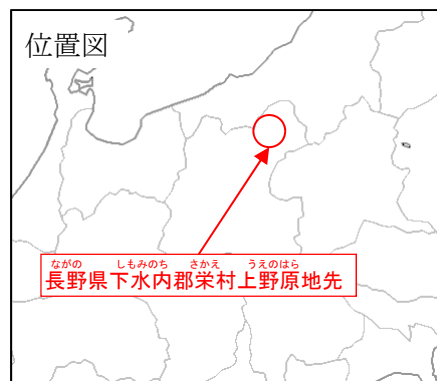
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国のインフラ・ライフラインの土砂災害に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、インフラ・ライフラインに対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

上野原地区において、中津川上流砂防堰堤群の整備を推進します。



苗場山西斜面の大崩壊地



下流の屋敷集落



中津川上流第1号砂防堰堤計画地

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

姫川水系直轄砂防事業（浦川上流砂防堰堤群）の推進

ながの きたあづみ おたり
長野県北安曇郡小谷村

H31事業費
130百万円

事業の概要

姫川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

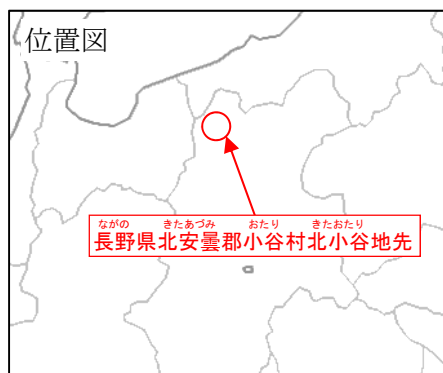
砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

北小谷地区において、浦川上流砂防堰堤群の整備を推進します。



金山沢 源頭部の荒廃状況



位置図



浦川上流砂防堰堤群全景



浦川上流にある稗田山崩壊地

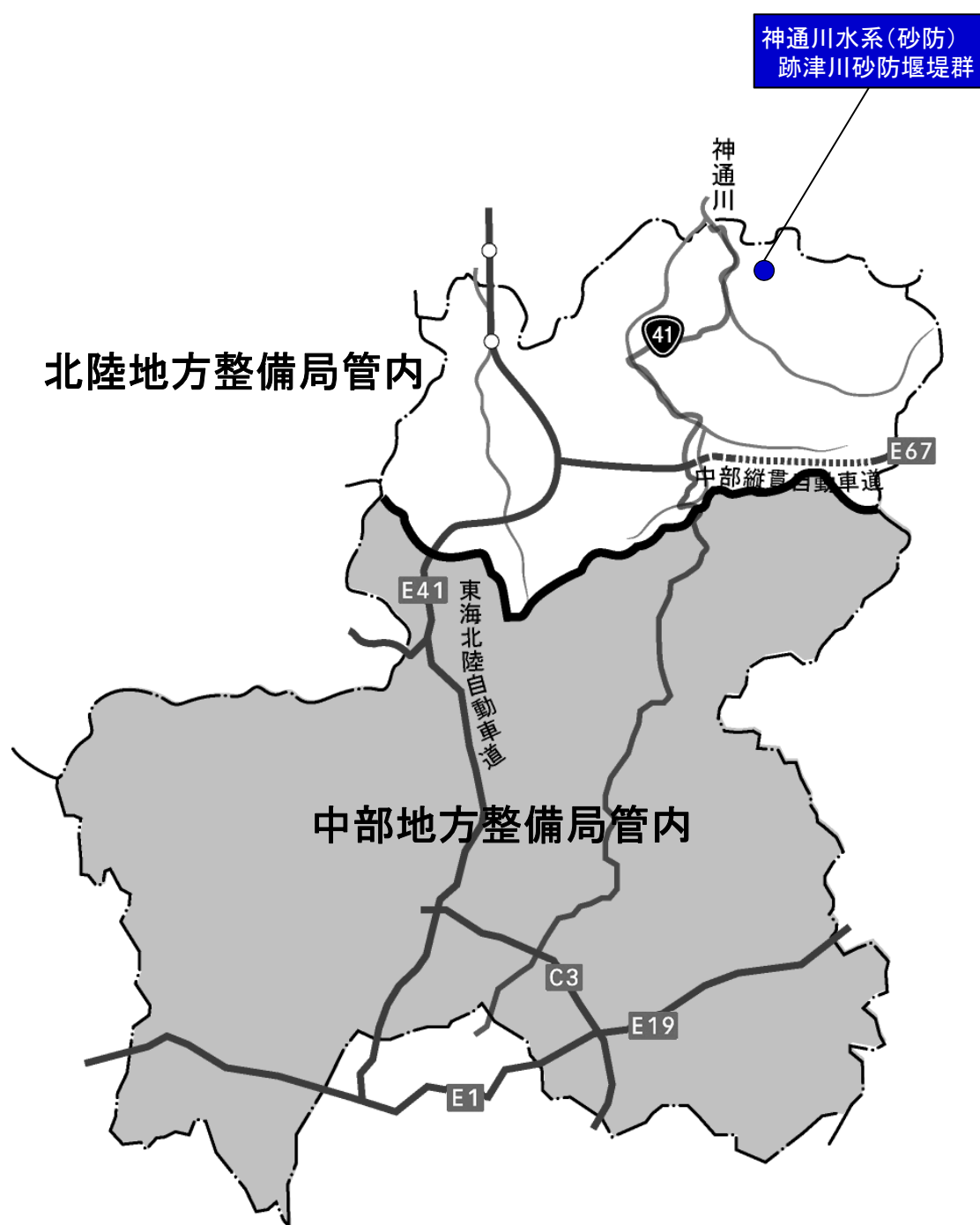


明治44年8月 稗田山大崩壊形成された天然ダム

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

岐阜県内の主要事業



凡例	治水事業
----	------

じんづうがわ

神通川水系直轄砂防事業(跡津川砂防堰堤群)の推進

ぎふ ひだ
岐阜県飛騨市

H31事業費
332百万円

事業の概要

神通川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「中小河川緊急治水対策プロジェクト(土砂・流木対策)」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、保全対象に対する土砂・流木を伴う洪水による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

跡津川地区において、跡津川砂防堰堤群の整備を推進します。



位置図

ぎふ ひだ かみおからようあとつがわ
岐阜県飛騨市神岡町跡津川地先

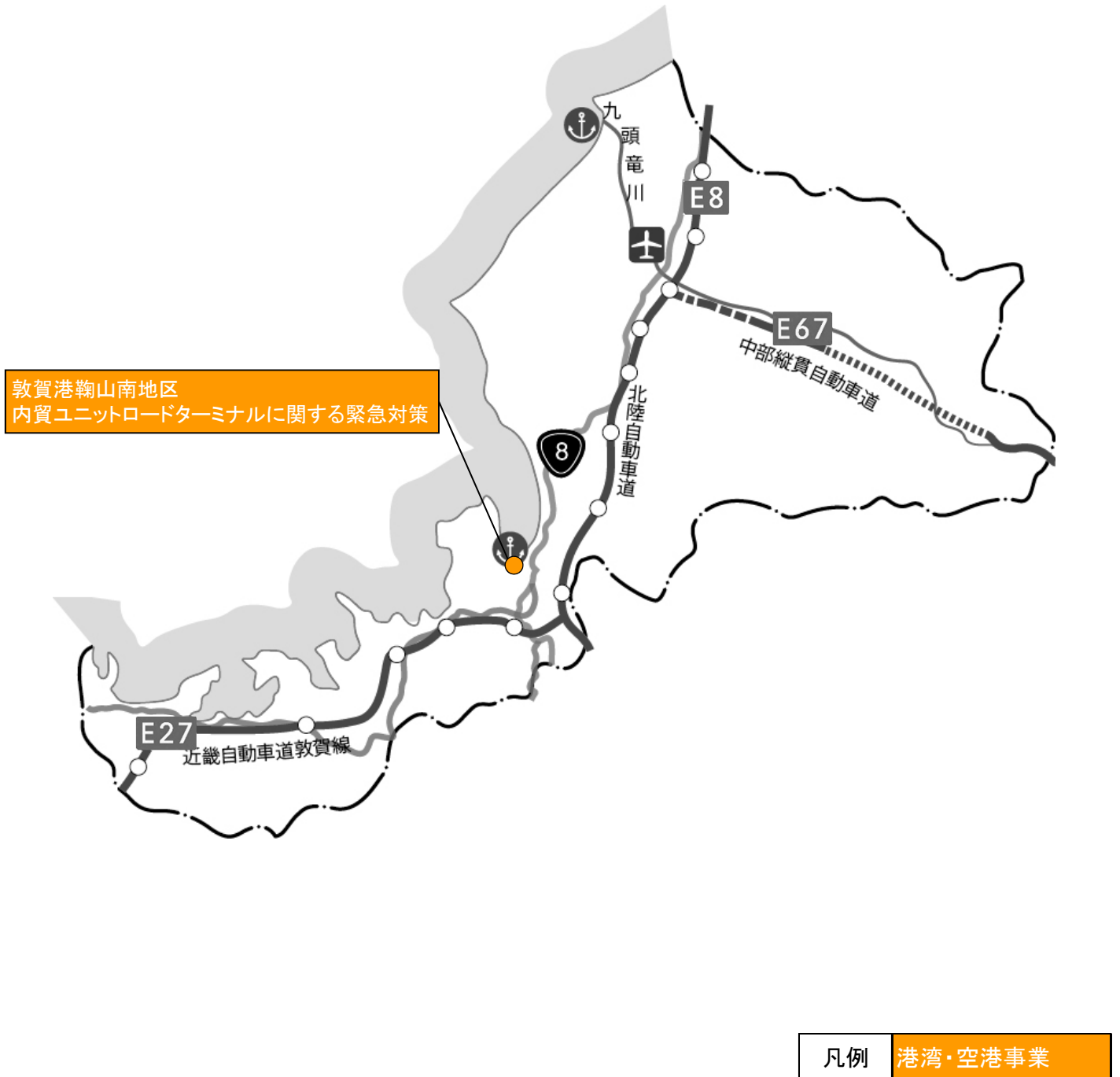


跡津川上流砂防堰堤

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

福井県内の主要事業



ないぼう
敦賀港 鞠山南地区
内貿ユニットロードターミナルに関する緊急対策
ふくい つるが
福井県敦賀市
H31事業費 940百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、地震リスク等の課題があるため、緊急対策として耐震性が確保される岸壁の整備を実施します。

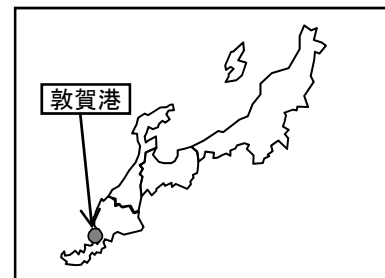
整備効果

耐震性が確保される岸壁の整備により、大規模地震時において港湾機能が停止することを防止します。

平成31年度の事業内容

岸壁の整備を推進します。

【位置図】



その他の主要事業

河川管理施設等の老朽化対策の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

河川管理施設の点検を行い、施設の老朽化の進行等により機能が低下した排水機場、水門・樋管等のゲート、護岸等の更新・補修等を実施します。

整備効果

既存の施設について元々必要としていた機能が低下し、安全性の確保が難しい箇所について、老朽化対策により従前の機能を回復し、河川の安全性を確保します。

平成31年度の事業内容

河川管理施設の巡視、点検を行うとともに、洪水被害の軽減のため、老朽化等により機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施します。

機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施



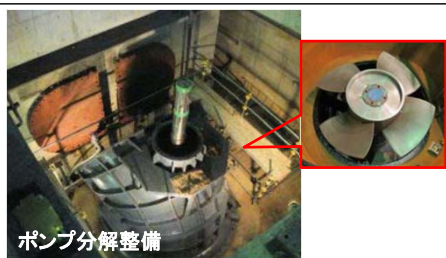
ゲート主ローラの腐食

ゲート扉体部の発錆

①水門等の開閉装置の補修・更新



②老朽化した運転操作システムの更新



ポンプ分解整備

③排水機場のポンプ設備の修繕



護岸の亀裂

④護岸等修繕



低水護岸・蛇籠の流出

施設点検・巡視のための堤防除草を実施



大型遠隔式除草機械による除草

河川管理施設の点検



堤防点検により変状を確認



河道状況の確認

防災のための重要インフラ等の機能維持

北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年7月豪雨、平成30年台風21号、北海道胆振東部地震等、最近の災害に鑑み実施された「重要インフラ総点検」の結果を踏まえとりまとめられた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の一環として、樹木伐採、土砂掘削等を実施します。

整備効果

樹木伐採、土砂掘削を行うことで近年の主要洪水等に対して氾濫の防止、最小化等を図ります。

平成31年度の事業内容

大規模な浸水による被害の防止、最小化等のため、河道内の樹木伐採、土砂掘削を実施します。

(土砂掘削のイメージ)



(樹木伐採のイメージ)



河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)として、氾濫による危険性の高い等の区間において樹木伐採・土砂掘削を行い氾濫の危険性を概ね解消

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

ダムの安全性及び機能の保持のための対策

おおいし 大石ダム他6ダム

事業の概要

ダムの安全性及び機能の保持のために、老朽化・機能低下したダム管理施設の補修・更新等を実施します。

整備効果

老朽化・機能低下したダム管理施設の補修・更新等を実施することにより、ダムの安全性及び機能の保持を図ります。

平成31年度の事業内容

老朽化・機能低下したダム管理施設の補修・更新等を実施します。



ゲート全景

屋外開閉装置部の腐食
常用洪水吐予備ゲートの補修(大石ダム)



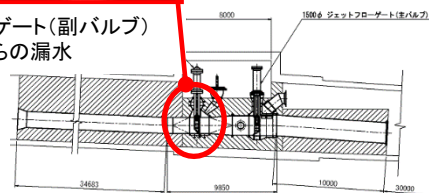
戸当りのふくれ



屋外開閉装置部の腐食



副ゲート(副バルブ)
からの漏水



放流管バルブの更新(手取川ダム)



ゲート全景

戸当りの腐食
常用洪水吐主ゲートの補修(大町ダム)



扉体上部の腐食



戸当りの腐食



放流警報監視装置



放流警報局

放流警報設備の更新(大川ダム)

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

北陸地方整備局管内

事業の概要

近年、頻発する激甚な災害を踏まえ、災害で明らかとなった課題に対応するため、特に緊急に実施すべき対策を推進します。

平成31年度の事業内容

法面・盛土対策



法面の岩塊状況



(対策イメージ：ロープネット工)

冠水対策



冠水発生状況



(対策イメージ：側溝更新、舗装勾配修正)

豪雪対策



車両滞留の発生状況



(対策イメージ：待避場所整備)

道路の老朽化対策、防災・震災対策の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

・道路の老朽化対策

橋梁・トンネル等の道路構造物について、適切に点検・修繕等を実施するメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の推進に取り組めます。

・道路の防災・震災対策

大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化を推進します。

平成31年度の事業内容

道路の老朽化対策

<橋梁>



（点検）

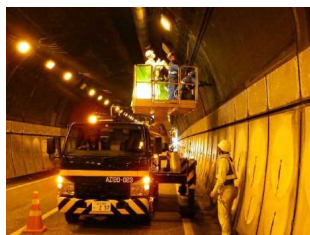


（鋼部材の塗装劣化）



（修繕：塗装塗替）

<トンネル>



（点検）



（覆工コンクリートのひび割れ）



（修繕：剥離・剥落対策）

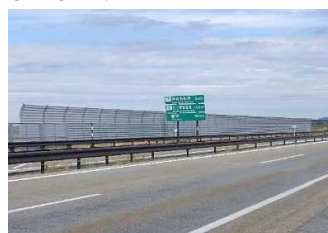
道路の防災・震災対策

<耐震補強>



（落橋防止対策）

<防雪対策>



（地吹雪防止対策）

道路利用者目線によるピンポイント渋滞対策

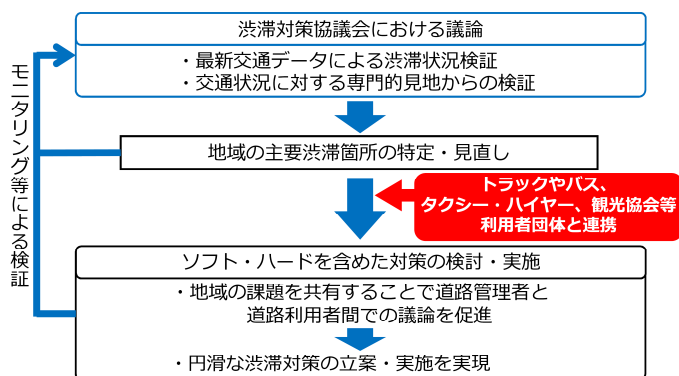
北陸地方整備局管内

事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



平成31年度の事業内容

国道8号 四屋交差点（富山県 高岡市）



＜＜右折レーンの延伸を予定＞＞

国道157号 乾東交差点（石川県 白山市）



＜＜右折レーンの延伸を予定＞＞

国道8号 寺島交差点（新潟県 長岡市）



＜＜右折レーンの延伸を予定＞＞

平成31年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

新潟県

国道116号 よしだ 吉田バイパス

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

富山県

富山外郭環状道路 なかじま ほんごう 中島～本郷

国道8号の親不知地区、国道17号の湯沢地区などの災害に対する脆弱区間については、防災機能の向上や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。
新潟駅の交通結節点の機能強化に係る調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>

